

參考資料

参考資料目次

1 . 交通安全意識等に関するアンケート票	155
(1) 一般アンケート	155
(2) 子供アンケート	168
2 . 交通安全意識等に関するアンケート調査結果	171
(1) 一般アンケート	171
(2) 子供アンケート	203

1. 交通安全意識等に関するアンケート票

(1) 一般アンケート

回答者属性に関する質問

問1 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

問2 あなたの年齢は満でおいくつですか。枠内に数字を記入してください。

満 歳

問3 あなたがお住まいの都道府県を選択してください。

(都道府県のプルダウン)

問4 あなたが、お住まいの市区町村の規模を選択してください。

- 1 大都市(東京都区部と政令指定都市)
- 2 中都市(人口10万人以上の市)
- 3 小都市(人口10万人未満の市)
- 4 町村

問5 あなたのご家族には、次のような年代の方はおられますか。それぞれの年代について、「いる」または「いない」を選択してください。

	いる	いない
高齢者(75歳以上)の方		
高齢者(65~74歳)の方		
6歳~15歳の方		
0歳~5歳の方(胎児を含みません)		

自動車の運転に関する質問

問6 あなたがお持ちの運転免許を、すべて選択してください。

- 1 自動車に係る免許（大型免許、中型免許、普通免許等）
- 2 二輪車に係る免許（大型二輪免許、普通二輪免許）
- 3 原付免許
- 4 持っていない

問6 - 2 免許をお持ちの場合、あなたが初めて免許を取得してから現在までの年月を数字で記入してください。

複数の免許をお持ちの方は、最初にとった免許の保有年数をお答えください

1年未満の方は、年に「0（ゼロ）」を入力してください

月を回答される場合はプルダウンでお選びください。

免許保有年 年 (プルダウン) か月

問7 高齢になった免許保有者が、運転免許証を自主的に返納する制度があります。あなたご自身の免許の返納については、どのようにお考えでしょうか。以下から1つ選択してください。

- 1 すでに返納した（返納した時の年齢： 歳）
- 2 いずれ返納する予定がある（返納を予定している年齢： 歳）
- 3 いずれ返納するつもりだが、今のところ予定は立てていない
- 4 返納するつもりはない（理由：）
- 5 わからない・免許を持ったことがない

問8 あなたご自身が運転する各々の乗り物に関して、運転の頻度を1つ選択して下さい。

	ほぼ 毎日	週 3～4日	週 1～2日	月 1～2日	ほとんど 運転しない	全く 運転しない
自動車						
二輪車 (バイク・原付)						
自転車						
その他 (シニアカー等)						

交通事故の経験に関する質問

問9 道路上にいる時間は、その他の時間（自宅や職場にいる時間や電車に乗っている時間等）と比較して事故に遭遇する危険がとて高いとされています。あなたは一日のうち、平均すると、どのくらいの時間を道路の上で過ごしていますか。徒歩、自転車や自動車等で、それぞれ道路上にいる時間をお答えください。

徒 歩	約	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
自転車	約	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
自動車等	約	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分

問10 あなたご自身とあなたのご家族の加害者・被害者としての「物損事故」「人身事故」の経験の有無を教えてください。該当するものをすべてお答えください。

加害者となった（自損・単独を含む）

	物損事故	人身事故	該当なし
自身			
自動車			
二輪車（バイク・原付）			
自転車			
その他（ <input type="text"/> ）			
家族			
自動車			
二輪車（バイク・原付）			
自転車			
その他（ <input type="text"/> ）			

被害者となった

	物損事故	人身事故	該当なし
自身			
自動車			
二輪車（バイク・原付）			
自転車			
歩行中			
その他（ <input type="text"/> ）			
家族			
自動車			
二輪車（バイク・原付）			
自転車			
歩行中			
その他（ <input type="text"/> ）			

交通事故に対する意識に関する質問

問 11 毎日、全国でどれくらいの方が交通事故で亡くなっていると思いますか。正しい統計値を解答していただく必要はありません。資料などを閲覧することなく、現在のあなたの印象で下記から 1 つを選択してください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 1~4 人 | 6 30~49 人 |
| 2 5~9 人 | 7 50~99 人 |
| 3 10~14 人 | 8 100~199 人 |
| 4 15~19 人 | 9 200~399 人 |
| 5 20~29 人 | 10 400 人以上 |

問 12 交通事故で亡くなっている方のうち、高齢者（65 歳以上）はどの程度の割合だと思いますか。下記から 1 つを選択してください。

- 1 0~19 %
- 2 20~39 %
- 3 40~59 %
- 4 60~79 %
- 5 80 %以上

問 13 交通事故の情勢はどのような方向に向かっていると思いますか。あなたの考えや印象が一番近い情勢を 1 つ選択してください。

- 1 好ましい方向に向かっている
- 2 悪化する方向に向かっている
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない

問 14 下記のそれぞれの項目について、どのような方向に向かっていると思いますか。あなたの印象が一番近いものを、各項目で 1 つずつ選択してください。

項目	最近増えた	変わらない	最近減った
交通事故の発生			
悪質・危険・迷惑な交通事故			
自分に身近な所での交通事故			
交通事故による死者・重傷者			

問 15 あなたは、日本の道路交通安全事情を世界の中で比較した場合、たとえば人口 10 万人当たりの交通事故死者数は、少ない方だと思いますか、多い方だと思いますか。下記より 1 つを選択してください。

- 1 日本は少ない方である
- 2 およそ中間で多い方でも少ない方でもない
- 3 日本は多い方である
- 4 わからない

問 16 あなたのまわり一人一人を見たときに、交通事故を起こす（加害者となる）危険性が高いのは、下記のどの年齢層の人であると考えていますか。危険性が1番高い年齢層と、2番目に高い年齢層を、それぞれ1つずつお選びください。

年齢層	1番	2番
0～15歳		
16～24歳		
25～39歳		
40～64歳		
65～74歳		
75歳以上		

問 17 あなたのまわり一人一人を見たときに、交通事故に遭（あ）う（被害者となる）危険性が高いのは、下記のどの年齢層の人であると考えていますか。危険性が1番高い年齢層と、2番目に高い年齢層を、それぞれ1つずつお選びください。

年齢層	1番	2番
0～15歳		
16～24歳		
25～39歳		
40～64歳		
65～74歳		
75歳以上		

問 18 日本の平成 25 年中の交通事故死者数は 4,373 人（事故後 24 時間以内。1 日あたり 12.0 人）でした。平成 25 年中の交通事故死者数（4,373 人）の印象について、下記から 1 つ選んでください。

先ほど問 12 で同じような質問をしました。正解していただくような意図は決してありませんので、前問のお答えはお答えとして、そのままにしておいてくださるようお願いいたします。

- 1 少ないと思った
- 2 このぐらいだと思った
- 3 多いと思った
- 4 わからない

問 19 日本の平成 25 年中の交通事故死者数のうち、高齢者は 2,303 人で、全体の 52.7% でした。高齢者の割合（52.7%）の印象について、下記から 1 つ選んでください。

先ほど問 12-2 で同じような質問をしました。正解していただくような意図は決してありませんので、前問のお答えはお答えとして、そのままにしておいてくださるようお願いいたします。

- 1 少ないと思った
- 2 このぐらいだと思った
- 3 多いと思った
- 4 わからない

問 20 我が国の平成 25 年中の交通事故死傷者数（死者数 + 負傷者数）は約 78.6 万人（1 日あたり約 2,200 人）でした。交通事故死傷者数の印象について、下記から 1 つ選んで下さい。

- 1 少ないと思った
- 2 このぐらいだと思った
- 3 多いと思った
- 4 わからない

問 21 交通事故について、あなたの考え方に一番近いものをお教えてください。それぞれの項目について、あなたの考え方を 1 つずつ選んでください。

項目	なくすことが可能であり、ゼロとすべきである	なくすことは困難だが、大幅に減少させるべきである	ある程度生じるのはやむを得ず、減少できなくても仕方がない	自分とは関係がなく、あまり関心がない
交通事故死者数 （H25 年中の死者数は 4,373 人。過去最多は S45 年中の 16,765 人）				
交通事故重傷者数 （H25 年中の重傷者数は約 4 万 5 千人。過去最多は S45 年中の約 13 万人）				
交通事故軽傷者数 （H25 年中の負傷者数は約 78 万人。過去最多は H16 年中の約 111 万人）				
交通事故件数 （H25 年中の件数は約 63 万件。過去最多は H16 年中の約 95 万件）				

交通安全に対する意識・行動に関する質問

問 22 交通事故について、普段どのくらい不安に感じていますか。下記から1つ選んで下さい。

- 1 常に不安に感じている
- 2 時々不安に感じることがある
- 3 ほとんど不安に感じることは無い
- 4 全く不安は感じない

問 23 次のうち、あなたが日常で特に不安に感じることをすべて選んでください。

- 1 傷害、強盗等の暴力的な犯罪
- 2 痴漢・ストーカー
- 3 振り込め詐欺
- 4 暴力団による犯罪
- 5 銃器や薬物による犯罪
- 6 通り魔的犯罪
- 7 交通事故
- 8 その他 ()

問 24 あなたは、日頃、交通安全上、不安に思っていることがありますか。あるとすれば、どんなことでしょうか。該当するものをすべて選んで下さい。また、特に不安に思うことを1つ選んで下さい。

- 1 生活道路（住宅地内の道路）で、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持管理が不十分である
- 2 生活道路（住宅地内の道路）内で十分に速度を落としていない自動車や二輪車
- 3 幹線道路で、中央分離帯、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持管理が不十分である
- 4 横断歩道（橋）や信号機の設置や維持管理が不十分である
- 5 自転車専用道路の設置が不十分である
- 6 交通法規やマナーを守らない歩行者が多い
- 7 交通法規やマナーを守らない自転車が多い
- 8 交通法規やマナーを守らない自動車の運転者が多い
- 9 交通法規やマナーを守らない二輪車の運転者が多い
- 10 渋滞が多い
- 11 道路上に、違法駐車や放置自転車などの障害物が多い
- 12 道路や事故の状況など、交通安全に関する情報が不十分である
- 13 自動車または二輪車の安全性に信頼がおけない
- 14 その他 ()
- 15 特に不安に思っていることはない
- 16 わからない

問 25 交通安全に関して、普段どのくらい考えていますか。下記から1つ選んでください。

- 1 普段から考えている
- 2 多少は考えている
- 3 ほとんど考えたことはない
- 4 全く考えたことはない

問 26 交通安全に関して、あなた以外の人は、普段どのくらい考えていると思いますか。下記から1つ選んでください。

- 1 普段から考えていると思う
- 2 多少は考えていると思う
- 3 ほとんど考えたことはないと思う
- 4 全く考えたことはないと思う

問 27 現在、道路を通行するときに「安全・安心」を実感していますか。それぞれの項目について、該当するものを1つ選んでください。

項目	とても実感している	やや実感している	あまり実感していない	まったく実感していない
道路交通環境（歩道、信号機等） （自動車に乗っているとき）				
道路交通環境（歩道、信号機等） （歩いているとき、自転車に乗っているとき）				
車両の構造				
車両の安全装置（衝突回避支援装置など）				
自動車の運転マナー				
二輪車（原付を含む）の運転マナー				
自転車の運転マナー				
歩行者のマナー				

問 28 交通安全に関するあなたの行動についてお教えてください。それぞれの行動について該当するものを1つ選んでください。

交通安全に関するあなたの行動	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	該当しない
交通安全全般に関すること					
(1)交通ルールをいつも意識して行動している。					
(2)周囲の交通状況（渋滞・天候等を含めた全般的な状況）の変化に十分に注意を払っている。					
(3)子供や高齢者がいる場面では、相手の動きに十分に注意を払っている。					
自動車や二輪車の安全に関すること					
(4)自動車乗用中、常にシートベルトを着用している。					
(5)自動車乗用中、助手席の同乗者には、常にシートベルトを着用させるようにしている。					
(6)自動車乗用中、後部座席の同乗者には、常にシートベルトを着用させるようにしている。					
(7)6歳未満の子供が自動車に乗るときは、常にチャイルドシートを使用させている。					
(8)体調不良時は自動車や二輪車の運転を控える。					
(9)自動車や二輪車運転中、飲酒運転は絶対にしない。					
(10)生活道路（住宅地内の道路）を運転する時には、速度を落とすことを心がけている。					
(11)横断歩道がある場所では横断歩行者がいないか注意している					
(12)自動車を購入する時には、車両の安全性能を重視している。					
自転車の安全に関すること					

(13)自転車運転中、飲酒運転は絶対にしない。					
(14)自転車による危険・迷惑行為（無灯火、二人乗り、歩道上の危険走行、車道の右側通行等）はしない。					
(15)子供が自転車に乗るときは、常にヘルメットを着用させている。					
(16)自転車乗用中、自動車・二輪車の通行を妨害しないよう十分注意を払う。					
(17)自転車乗用中、歩行者を不安にさせないよう十分注意を払う。					
歩行の安全に関すること					
(18)歩行中、自動車、二輪車や自転車の通行を妨害しないよう十分に注意を払う。					
(19)歩行中、自動車、二輪車や自転車の走行から自らの安全を確保するよう十分注意を払う。					
(20)横断歩道の青信号が点滅していたら、渡り始めずに待つようにしている。					
(21)歩行中、反射材を使用している。					
その他					
(22)家族・友人に交通安全をすすめている。					
(23)交通安全に関する各種活動に参加している。					

現在の交通安全対策に関する質問

問 29 あなたは、国，都道府県，都道府県の一部の地域，関係団体等が実施している交通安全普及啓発活動のうち、どのような活動に参加したことがありますか。それぞれの活動について参加状況を1つ選んでください。

交通安全普及啓発活動	複数回、参加したことがある	1回、参加したことがある	参加したことはないが、興味はある	参加したことはなく、興味もない
交通安全に関するイベント (フェア、講演、シンポジウム、展示会など)				
交通安全教室 (教室、講演会など)				
戸別訪問 訪問する側 (自宅へ訪問しチラシ配布など)				
街頭活動 主催者側 (街頭でのチラシ配布など)				
その他(<input type="text"/>)				

問 29-2 問 29 で「参加したことはないが興味はある」、「参加したことはなく興味もない」とお答えの場合、参加を促す、または興味を持ってもらうためにはどのような改善が重要だと思われるか。それぞれの項目について該当するものを1つお答えください。

改善項目	とても重要である	やや重要である	あまり重要でない	まったく重要でない	わからない
交通安全に役立つ情報など内容を充実する					
著名人の参加により興味を持ってもらう					
家族や友人と一緒に参加し易くする					
場所を増やし、参加できる機会を多くする					
回数を増やし、参加できる機会を多くする					
インターネットなどを通じて、自宅でも参加できるようにする					
新聞等により告知し、知る機会を多くする					
その他(<input type="text"/>)					

問 30 現在、進められている交通安全対策について、どの程度効果があると思いますか。該当するものを1つお答えください。

	効果が高い	効果が低い	わからない
1 道路交通環境の整備(例えば、歩道、信号機、横断歩道の整備をしたり、事故多発地点を改良したりする)			
2 交通安全思想の普及(例えば、安全教育を充実したり、広報啓発活動を推進したりする)			
3 安全運転の確保(例えば、運転免許制度を改善したり、事業所における安全運転指導などを推進したりする)			
4 車両の安全性の確保(例えば、車両の安全基準を強化したり、リコール制度を充実したりする)			
5 道路交通秩序の維持(例えば、悪質性、危険性、			

迷惑性の高い違反に対する指導取締り体制を充実したり、罰則を強化したりする)			
6 救助・救急活動の充実(例えば、救急医療機関や消防機関等の緊密な連携関係を構築する)			
7 損害賠償の適正化を始めとした被害者対策の推進(例えば、損害賠償制度や交通事故相談を充実する)			
8 研究開発及び調査研究の充実(例えば、交通事故原因の総合的な調査研究を充実する)			
9 その他()			

問 31 現在進められている交通安全対策について、今後も重要だと思いますか。該当するものを1つお答えください。

	重要だと思 う	重要だと思 わない	わからない
1 道路交通環境の整備(例えば、歩道、信号機、横断歩道の整備をしたり、事故多発地点を改良したりする)			
2 交通安全思想の普及(例えば、安全教育を充実したり、広報啓発活動を推進したりする)			
3 安全運転の確保(例えば、運転免許制度を改善したり、事業所における安全運転指導などを推進したりする)			
4 車両の安全性の確保(例えば、車両の安全基準を強化したり、リコール制度を充実したりする)			
5 道路交通秩序の維持(例えば、悪質性、危険性、迷惑性の高い違反に対する指導取締り体制を充実したり、罰則を強化したりする)			
6 救助・救急活動の充実(例えば、救急医療機関や消防機関等の緊密な連携関係を構築する)			
7 損害賠償の適正化を始めとした被害者対策の推進(例えば、損害賠償制度や交通事故相談を充実する)			
8 研究開発及び調査研究の充実(例えば、交通事故原因の総合的な調査研究を充実する)			
9 その他()			

今後の交通安全対策に関する質問

問 32 今後の交通安全対策について、次のような観点から見た場合に、重要だと思うキーワードをすべて選んでください。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 高齢者対策 | 9 I T S (高度道路交通システム) の推進 |
| 2 子供対策 | 10 車両の安全性向上 |
| 3 歩行者対策 | 11 救命救急医療の充実 |
| 4 自転車対策 | 12 シートベルト・チャイルドシートの着用促進 |
| 5 生活道路(住宅地内の道路)対策 | 13 飲酒運転の根絶 |
| 6 幹線道路対策 | 14 悪質な交通違反の厳罰化 |
| 7 まちづくり | 15 違法駐車・放置自転車対策 |
| 8 道路交通環境(歩道、信号機等)対策 | 16 その他() |
| | 17 特になし |
| | 18 わからない |

問 33 生活道路(住宅地内の道路)における交通安全対策として、車道の一部を狭くしたり路面の一部を盛り上げたりすることで、自動車が走りにくくなり、スピードが抑制されるものがあります。これらの対策について、あなたの考え方に近いものを選んで下さい。

- 1 生活道路(住宅地内の道路)の交通安全を確保するためには、自動車が走りにくくなることも避けられない
- 2 生活道路(住宅地内の道路)の交通安全を確保するためであっても、自動車が走りにくくなることは避けるべき

問 34 次のうち、あなたが積極的に協力しても良いと思うものは、どのようなものですか。該当するものをすべて選んでください。

- 1 交通ルールやマナーの遵守を家族や友人等に勧める
- 2 交通安全のイベントやフォーラムに参加する
- 3 交通安全の指導や交通事故被害者に対する支援等、ボランティアとして交通安全活動を行う
- 4 交通安全の視点から、地域のまちづくりや道づくりに参画する
- 5 交通安全の視点から、信号機や標識等の交通安全施設の点検活動に参加する
- 6 その他()

問 35 あなたは、交通安全問題の深刻さを国民に訴えかけるために、以下の方法はどの程度効果的だと思われますか。それぞれの方法について、効果の度合いを1つ選んでください。

方法	とても効果的	やや効果的	あまり効果的ではない	まったく効果的でない
(1)道路上の危険性を他の社会活動や輸送手段における危険性と比較する				
(2)交通事故の経済的損失(年間約6兆3,340億円)の巨額さ(GDP(国内総生産)の約1.3%)を強調する				
(3)交通事故の被害者、遺族、加害者の肉体的・精神的な苦痛や悲惨さを強調する				
(4)毎年の交通事故死者数の統計を公表し、いかに多くの				

国民が亡くなっているかを周知する				
(5)人生 80 年の間に 1 度は死亡事故・人身事故の被害者又は加害者になる確率があることを周知する				
(6)住んでいる地域の 1 日当たりの交通事故件数・死者数などを具体的に示して、地域住民の関心を高める				
(7)住んでいる地域での交通事故の事例や対策の実施を具体的に紹介して、地域住民の関心を高める				

問 35 - 2 また、上記問 35 の(1)から(7)までの方法以外に効果的な方法がございましたら、ご意見を具体的にご記入下さい。(自由記述)

問 36 今後の交通安全対策についてあなたのお考えをお答え下さい。(自由記述)

(2) 子供アンケート

子供の交通安全意識に関する質問

これから示す質問には、お子様自身の普段の交通安全に関する行動や意識に関するものがあります。問5以降は、あなたからお子様に質問していただき、その回答をあなたが代わって選択あるいは入力していただく様をお願いします。また、必要に応じて、質問や選択肢の意味を補足説明していただきますようお願いします。

一人以上のお子様がいらっしゃる場合は、特定の一人のお子様を対象にしてください。

この質問は、お子様に対する交通安全教育のために、適切な行動を選んでいただくことを意図してはおりません。お子様の現在の状況をありのままに把握できるよう、ご理解とご協力をお願いします。

問1 お子様の性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

問2 お子様の年齢は満でいくつですか。枠内に数字を記入してください。

満 歳

問3 あなたがお子様と住んでいるところはどこですか。該当する都道府県を選んでお答えください。
(都道府県のプルダウン)

問4 あなたが、お子様とお住まいの市区町村の規模をお答えください。

- 1 大都市（東京都区部と政令指定都市）
2 中都市（人口10万人以上の市）
3 小都市（人口10万人未満の市）
4 町村

以下は、お子様に対する質問です。お子様に一旦回答をして頂いたうえで、お子様に代わって回答を選択あるいは入力していただく様をお願いします。

問5 交通安全について普段どのくらい気をつけていますか。

- 1 いつも気をつけている
2 少しは気をつけている
3 ほとんど気をつけていない
4 全く気をつけていない

問6 交通安全について何に気をつけていますか？あてはまるもの全てをお答え下さい。

(歩くとき)

- 1 歩道がない道路では、道路の右側を歩く
- 2 歩道がある道路では、歩道を歩く
- 3 道路を渡るときは横断歩道を渡る
- 4 信号を守る(赤の時はとまり、青の時は右と左をよく見て、車が来ていないかを確認してから渡る)
- 5 道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確認する
- 6 道路や車のそばでは遊ばない。
- 7 道路に飛び出さない
- 8 夜に歩くときは、目立つように明るい服や反射材を付ける

(自転車に乗るとき)

- 9 車道の左端を走る
- 10 歩道ではスピードを出さず、ゆっくり走る
- 11 二人乗りをしない
- 12 自転車ですらんで走らない
- 13 まわりが暗くなったら、ライトをつける。
- 14 信号を守る
- 15 交差点では、他の車や人が来ていないかを確認する
- 16 ヘルメットをかぶる

(車に乗るとき)

- 17 助手席に座るとき、シートベルトを締める
- 18 後ろの席に座るとき、シートベルトを締める
- 19 その他()
- 20 気をつけていることはない

問7 交通ルールや交通安全について誰から教わりましたか(複数回答可)

- 1 学校
- 2 家族
- 3 友達
- 4 警察官
- 5 地域の交通安全教室
- 6 新聞
- 7 テレビ
- 8 その他
- 9 教わったことはない

問8 最近、交通事故にあいそうな、危ないと思った経験はありますか。

- 1 ある
- 2 ない

(注)問9～12は、問8で「1 ある」と回答した方のみお答え下さい。

問9 危ないと思ったのはどのようなときですか。

- 1 登下校中 2 習い事 3 買い物 4 遊び 5 その他()

問10 そのときのあなたの交通移動手段は何ですか。

- 1 自動車・バイク 2 自転車 3 徒歩 4 その他()

問11 そのときの相手の交通手段は何ですか。

- 1 自動車・バイク 2 自転車 3 徒歩 4 その他()

問12 その後交通事故に対して気をつけるようになりましたか

- 1 気をつけるようになった 2 あまりかわらない

問13 周りの大人の交通行動を見て、次のような行動を見かけることはありますか？よく見かけるものを全てお答え下さい。

- 1 信号を守らない歩行者
- 2 横断歩道ではないところを平気で渡ってしまう歩行者
- 3 狭い道路をすごいスピードで走っている車
- 4 すごいスピードで歩道を走る自転車
- 5 スマホを見ながら自転車に乗っている人
- 6 その他()
- 7 特にない(大人の人たちの交通行動はおおむね立派だと思う)

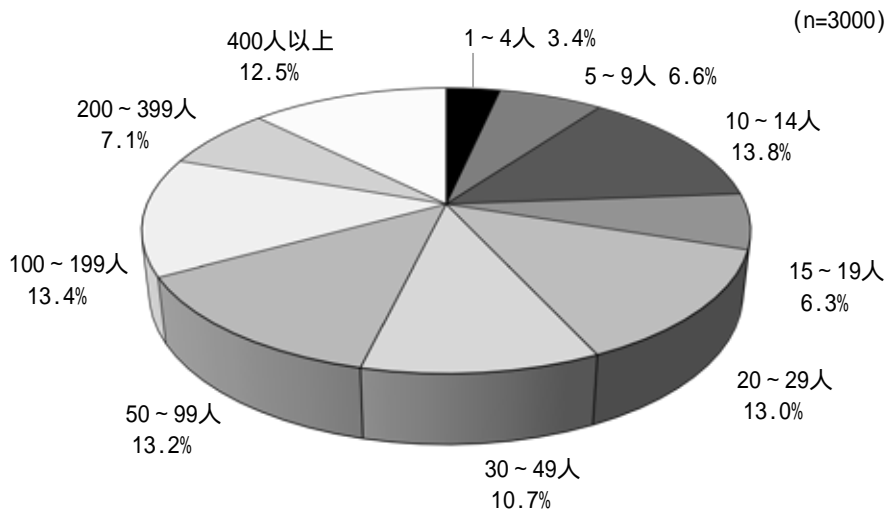
2. 交通安全意識等に関するアンケート調査結果

(1) 一般アンケート

1) 単純集計結果

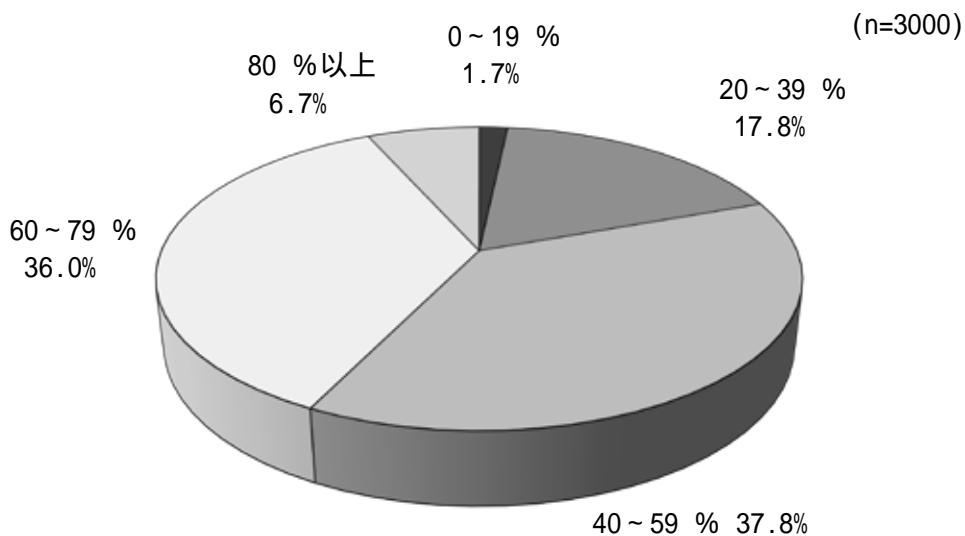
問11. 毎日、全国でどれくらいの方が交通事故で亡くなっていると思いますか。正しい統計値を解答していただく必要はありません。資料などを閲覧することなく、現在のあなたの印象で下記から1つを選択してください。

・全国の1日あたりの交通事故死者数については、回答がばらけており、正解に近い「10～14人」もしくは「15～19人」と回答した人は、合わせて20.1%であった。



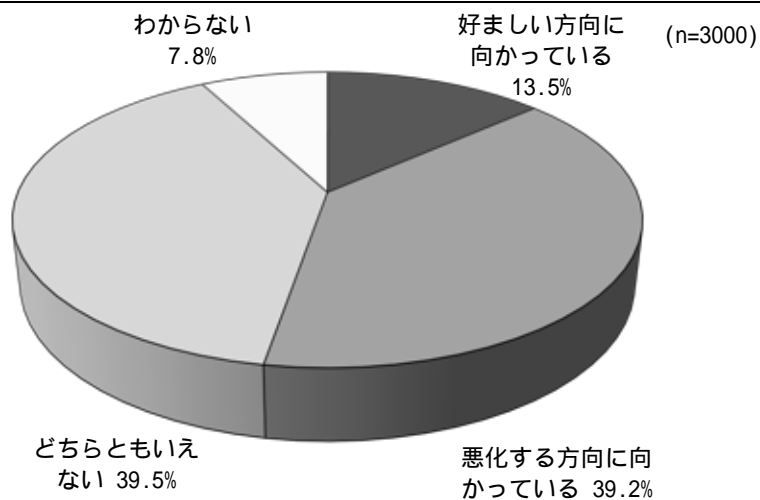
問12. 交通事故で亡くなっている方のうち、高齢者（65歳以上）はどの程度の割合だと思いますか。下記からもっともあてはまるもの1つを選択してください。

・交通事故で亡くなられた方のうち高齢者の割合については「40～59%」が37.8%、「60～79%」が36.0%と多く、高齢者が高い割合を占めると回答した人が多かった。



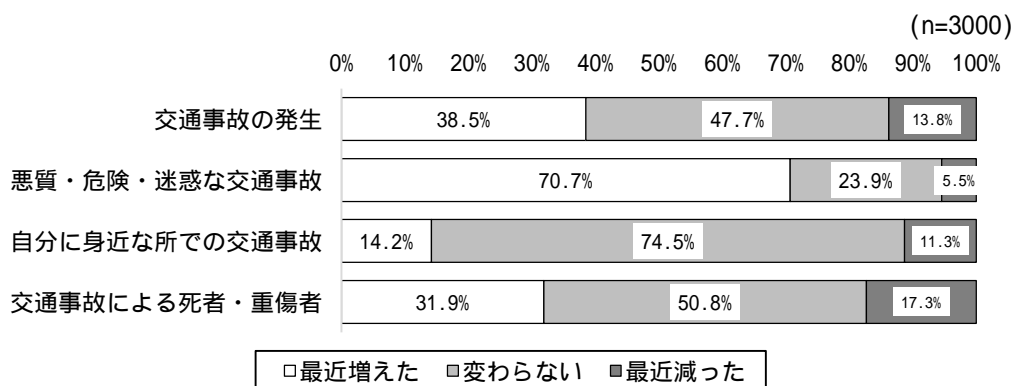
問13. 交通事故の情勢はどのような方向に向かっていると思いますか。あなたの考えや印象が一番近い情勢を1つ選択してください。

・交通事故情勢についてもっとも多かった回答は、「どちらともいえない」(39.5%)であり、ついで、「悪化する方向に向かっている」(39.2%)、「好ましい方向に向かっている」(13.5%)であった。



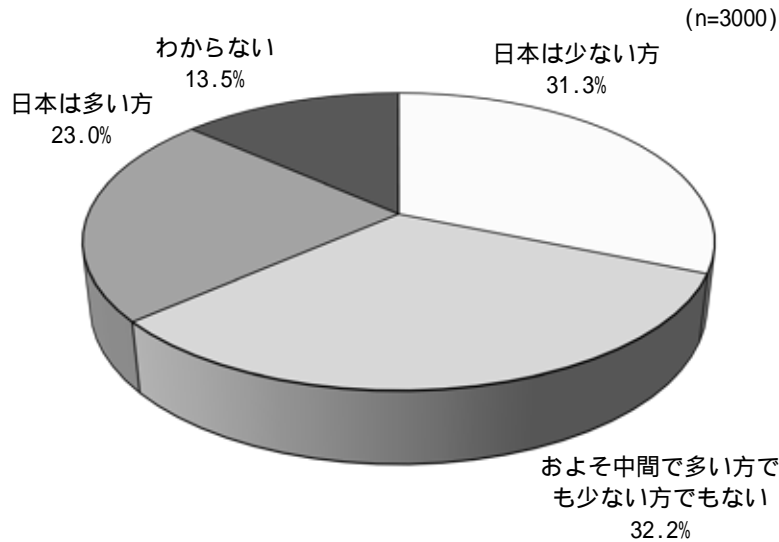
問14. 下記のそれぞれの項目について、最近、どのような方向に向かっていると思いますか。あなたの印象が一番近いものを、各項目で1つずつ選択してください。

・「交通事故の発生」、「自分に身近な所での交通事故の方向性」、「交通事故による死者・重傷者の方向性」については、「変わらない」と回答した人が最も多かった。
 ・他方、「悪質・危険・迷惑な交通事故」については、「最近増えた」と回答した人が最も多かった。



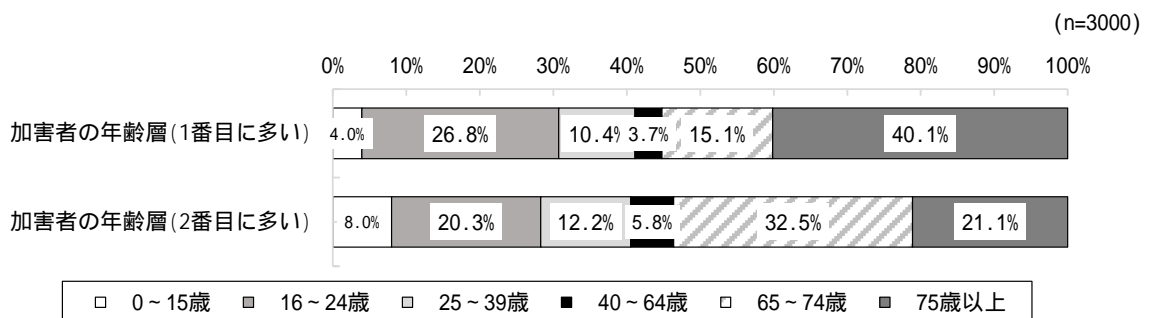
問15. あなたは、日本の道路交通安全事情を世界の中で比較した場合、たとえば人口10万人当たりの交通事故死者数は、少ない方だと思いますか、それとも、多い方だと思いますか。

・日本の人口当たりの交通事故死者数について多かった回答としては、「日本は少ない方である」が31.3%、「日本はおよそ中間で、多い方でも少ない方でもない」が32.2%であり、ほぼ同程度であった。一方、「日本は多い方である」との回答は、23.0%であった。



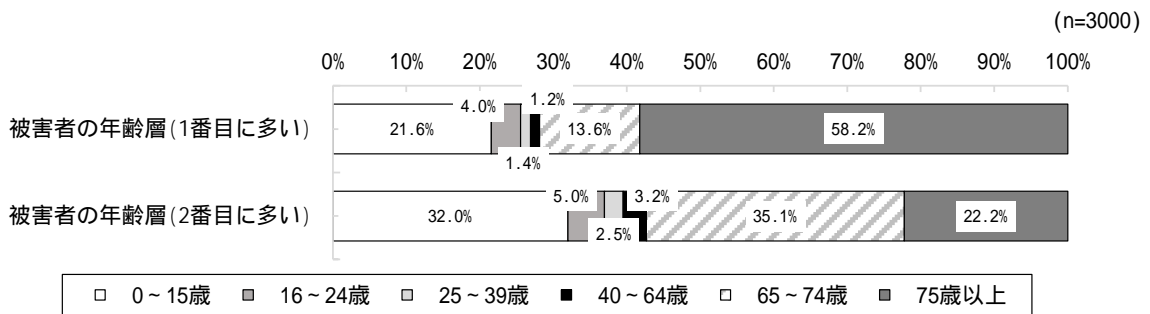
問16. あなたのまわり一人一人を見たときに、交通事故を起こす(加害者となる)危険性が高いのは、下記のどの年齢層の人であると考えていますか。危険性が1番高い年齢層と、2番目に高い年齢層を、以下の中からそれぞれ1ずつお選びください。

・加害者となる年齢層(1番目に多いと思われる)として回答が多かったのは、「75歳以上」(40.1%)であった。また、加害者となる年齢層(2番目に多いと思われる)として回答が多かったのは、「65~74歳」(32.5%)であった。



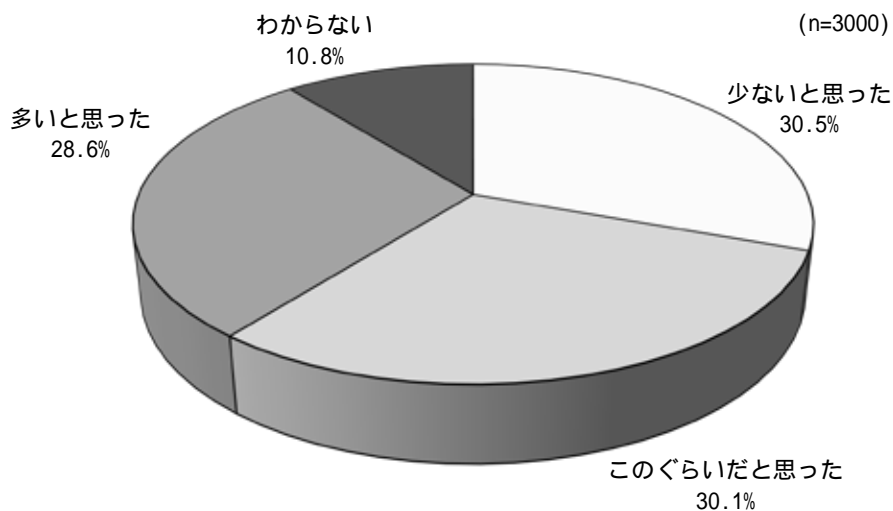
問17. あなたのまわり一人一人を見たときに、交通事故に遭(あ)う(被害者となる)危険性が高いのは、下記のどの年齢層の人であると考えていますか。危険性が1番高い年齢層と、2番目に高い年齢層を、以下の中からそれぞれ1つずつお選びください。

・被害者となる年齢層(1番目に多いと思われる)として回答が多かったのは、「75歳以上」(58.2%)であった。また、被害者となる年齢層(2番目に多いと思われる)として回答が多かったのは、「65~74歳」(35.1%)であった。



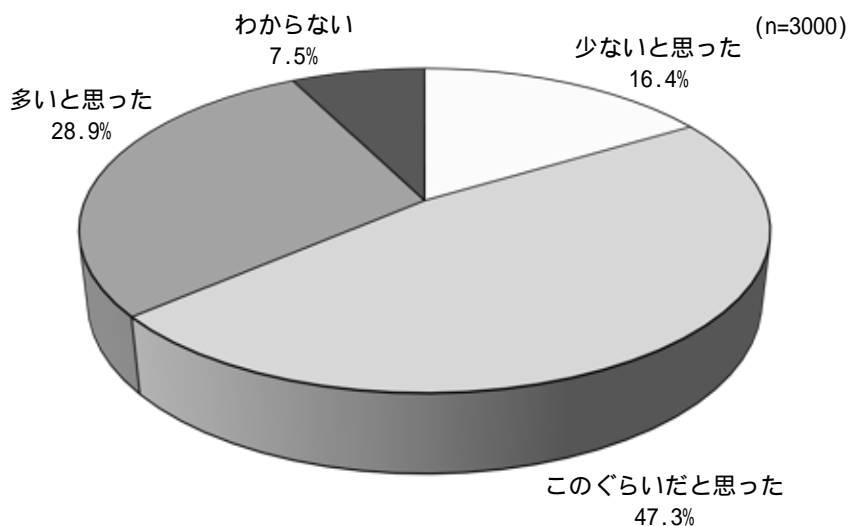
問18. 日本の平成25年中の交通事故死者数は4,373人(事故後24時間以内。1日あたり12.0人)でした。交通事故死者数の印象について、下記から1つ選んでください。

・平成25年中の交通事故死者数が4,373人であることに対する印象として、最も多かった回答は、「少ないと思った」(30.5%)であり、次いで、「このぐらいだと思った」(30.1%)、「多いと思った」(28.6%)となっている。



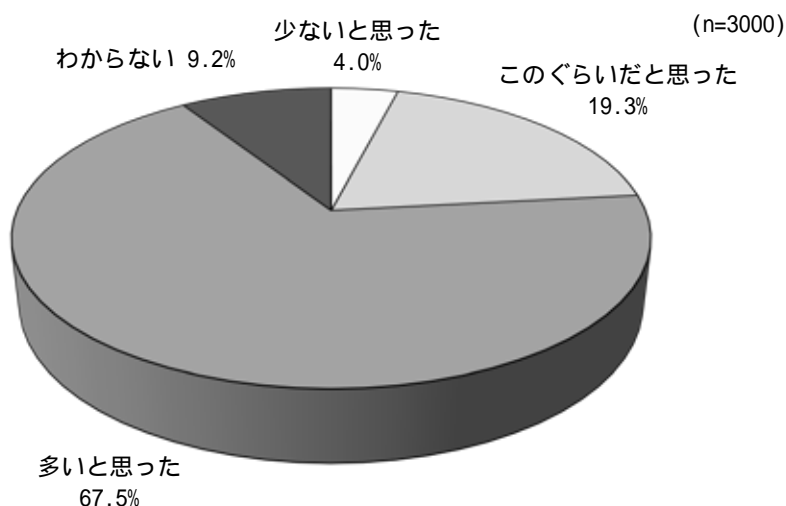
問19 . 日本の平成25年中の交通事故死者数のうち、高齢者は2,303人で、全体の52.7%でした。高齢者の割合(52.7%)の印象について、下記から1つ選んでください。

・平成25年中の交通事故者数のうち、高齢者が52.7%を占めたことに対する印象として、最も多かった回答は「このぐらいだと思った」(47.3%)であり、次いで「多いと思った」(28.9%)、「少ないと思った」(16.4%)となっている。



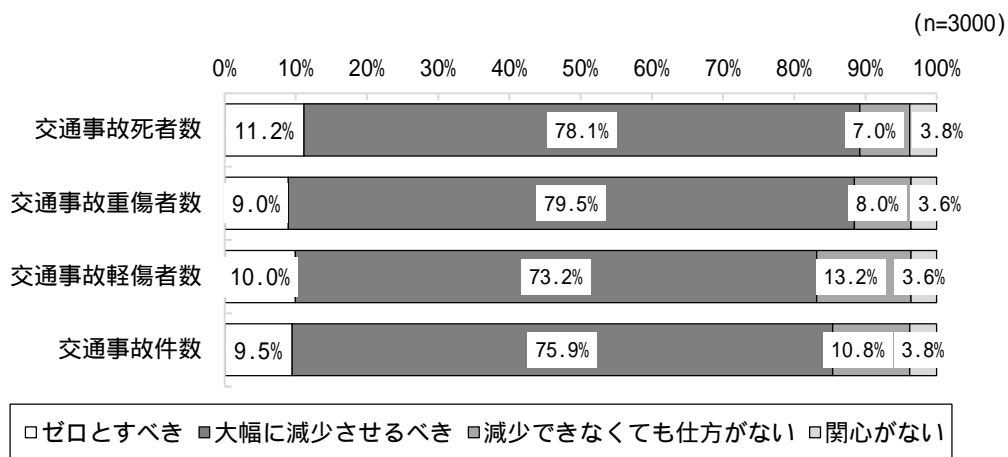
問20 .日本の平成25年中の交通事故死傷者数(死者数+負傷者数)は約78.6万人(1日あたり約2,200人)でした。交通事故死傷者数の印象について、下記から1つ選んで下さい。

・平成25年中の交通事故死傷者数(死者数+負傷者数)が約78.6万人であることに対する印象として、もっとも多かった回答は、「多いと思った」(67.5%)であり、次いで、「このぐらいだと思った」(19.3%)、「わからない」(9.2%)となっている。



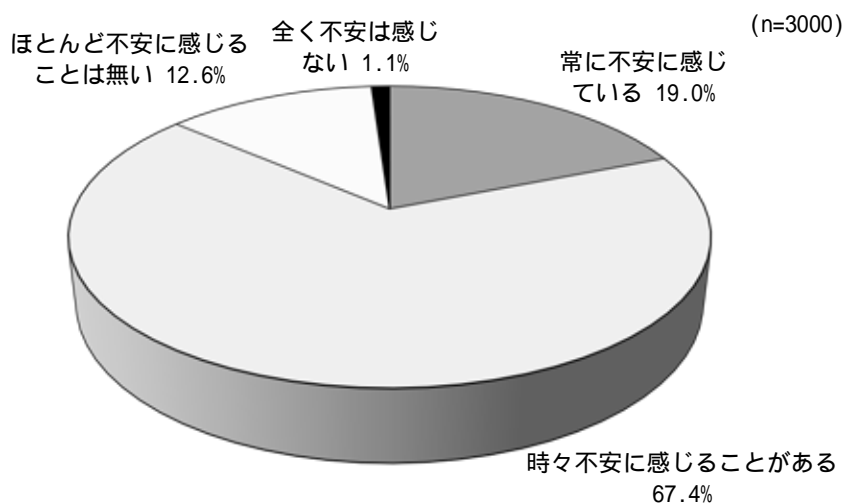
問 2 1 . 交通事故に関する以下のそれぞれの項目について、以下の中から、あなたの考え方に一番近いものを1つずつお教えてください。

・交通事故に関する死者数、重傷者数、軽傷者数、事故件数はいずれも8割以上が「大幅に減少させるべき」、または「ゼロとすべき」という回答となっており、「減少できなくても仕方ない」、「関心がない」を大きく上回る結果となった。



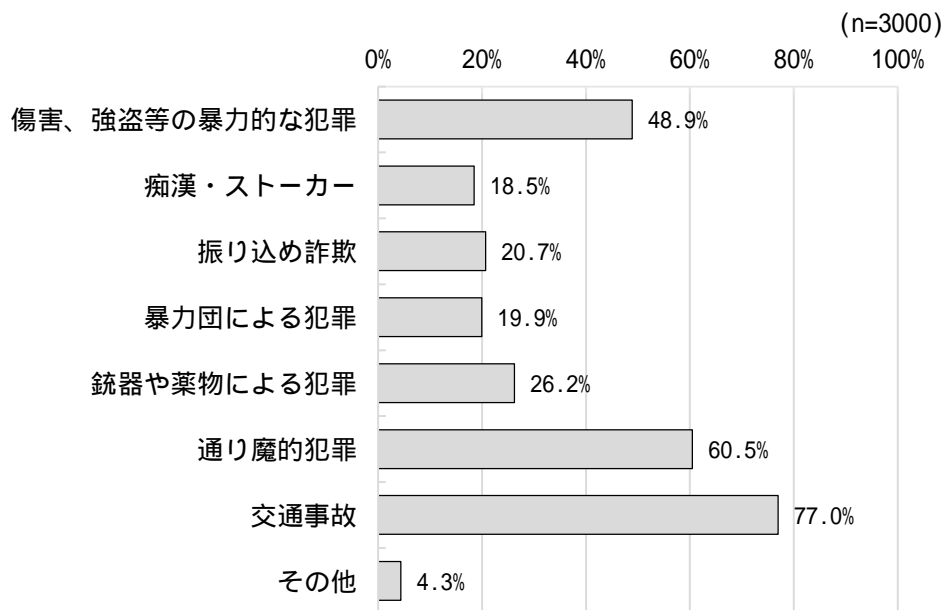
問 2 2 . 交通事故について、普段どのくらい不安に感じていますか。下記から1つ選んで下さい。

・交通事故について普段感じる不安について、「時々感じる」(67.4%)と「常に不安を感じている」(19.0%)の合計は86.4%と高い数値となっており、「ほとんど不安を感じない」(12.6%)、「全く不安は感じない」(1.1%)を大きく上回っている。



問23. 次のうち、あなたが日常で特に不安に感じることをすべて選んでください。

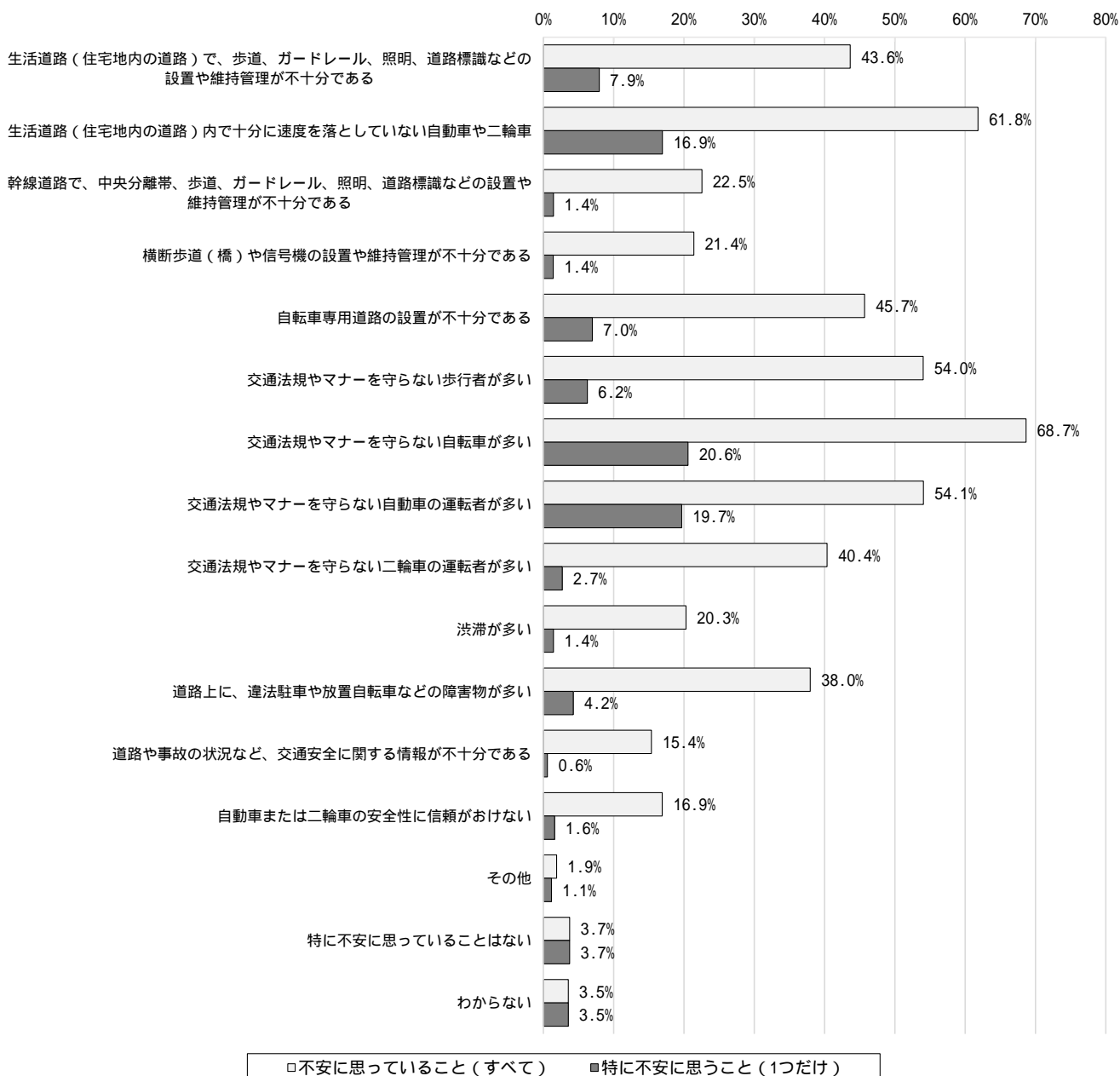
・日常で最も感じる不安は「交通事故」(77.0%)となっており、次いで「通り魔」(60.5%)、「傷害、強盗」(48.9%)等の犯罪があげられている。



問24. あなたは、日頃、交通安全上、不安に思っていることがありますか。あるとすれば、どんなことでしょうか。該当するものをすべて選んで下さい。また、その中から特に不安に思うことを1つ選んで下さい。

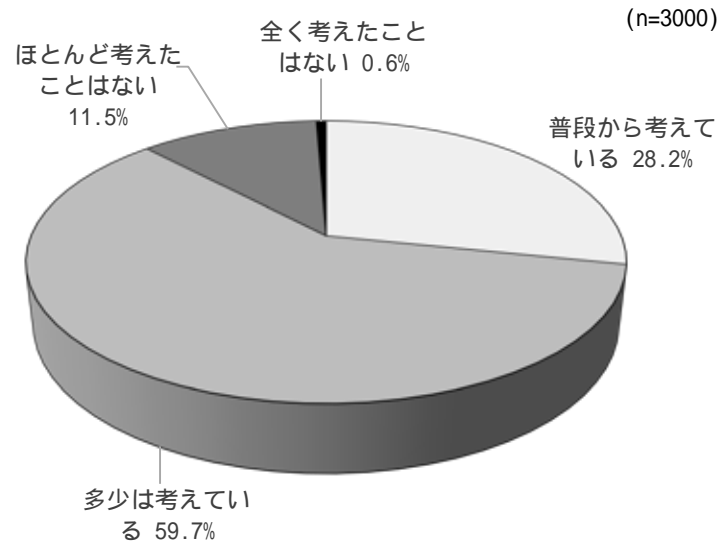
・日頃、交通安全上、不安に思っていることとして「交通法規やマナーを守らない自転車が多い」(68.7%)がもっとも多く、次いで「生活道路内で十分速度を落としていない自動車や二輪車」(61.8%)となっている。1つだけあげる特に不安なことについても「交通法規やマナーを守らない自転車」(20.6%)が最も多くあげられた。

(n=3000)



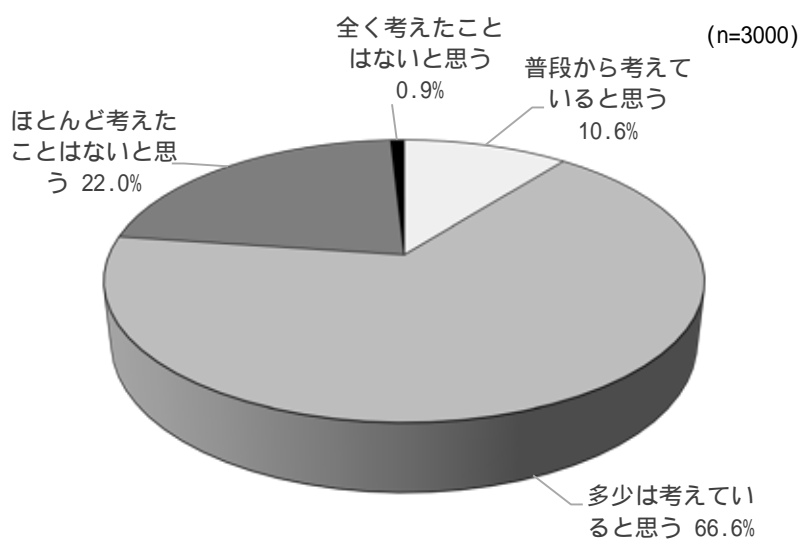
問25 . 交通安全に関して、普段どのくらい考えていますか。下記から1つ選んでください。

- ・交通安全に関して考える頻度については、「普段から考えている」や「多少は考えている」といった回答が多く、合わせて87.9%であった。
- ・一方、「ほとんど考えたことはない」、「まったく考えたことはない」といった回答は少なく、合わせて12.1%であった。



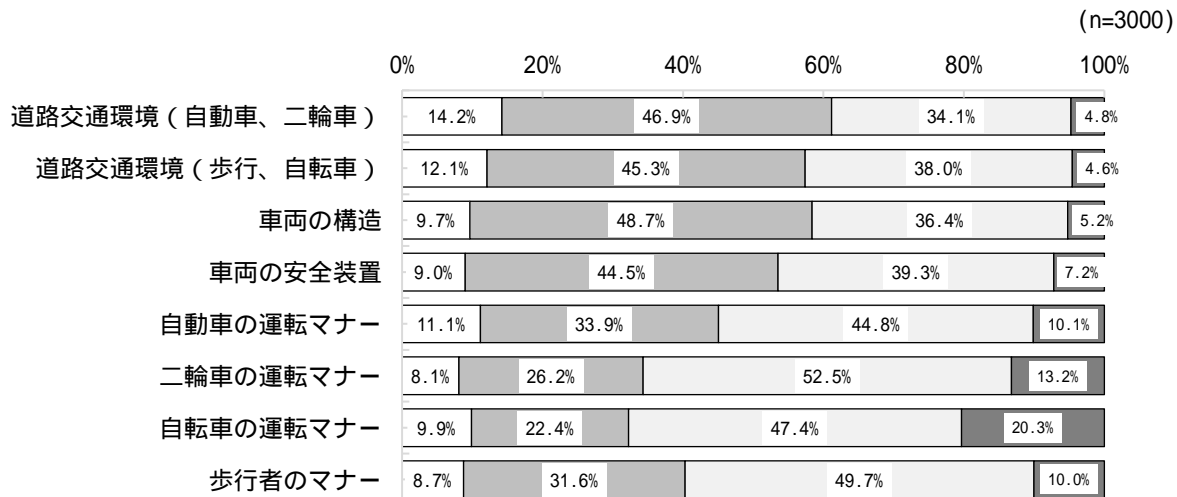
問26 . 交通安全に関して、あなた以外の人は、普段どのくらい考えていると思いますか。下記から1つ選んでください。

- ・他者が交通安全に関して考える頻度は、「普段から考えていると思う」や「多少考えていると思う」といった回答が多く、合わせて77.2%であった。
- ・一方、「ほとんど考えたことはないと思う」、「全く考えたことはない」といった回答は少なく、合わせて22.9%であった。



問27. 現在、道路を通行するときに「安全・安心」を実感していますか。それぞれの項目について、以下の中から最も該当するものを1つ選んでください。

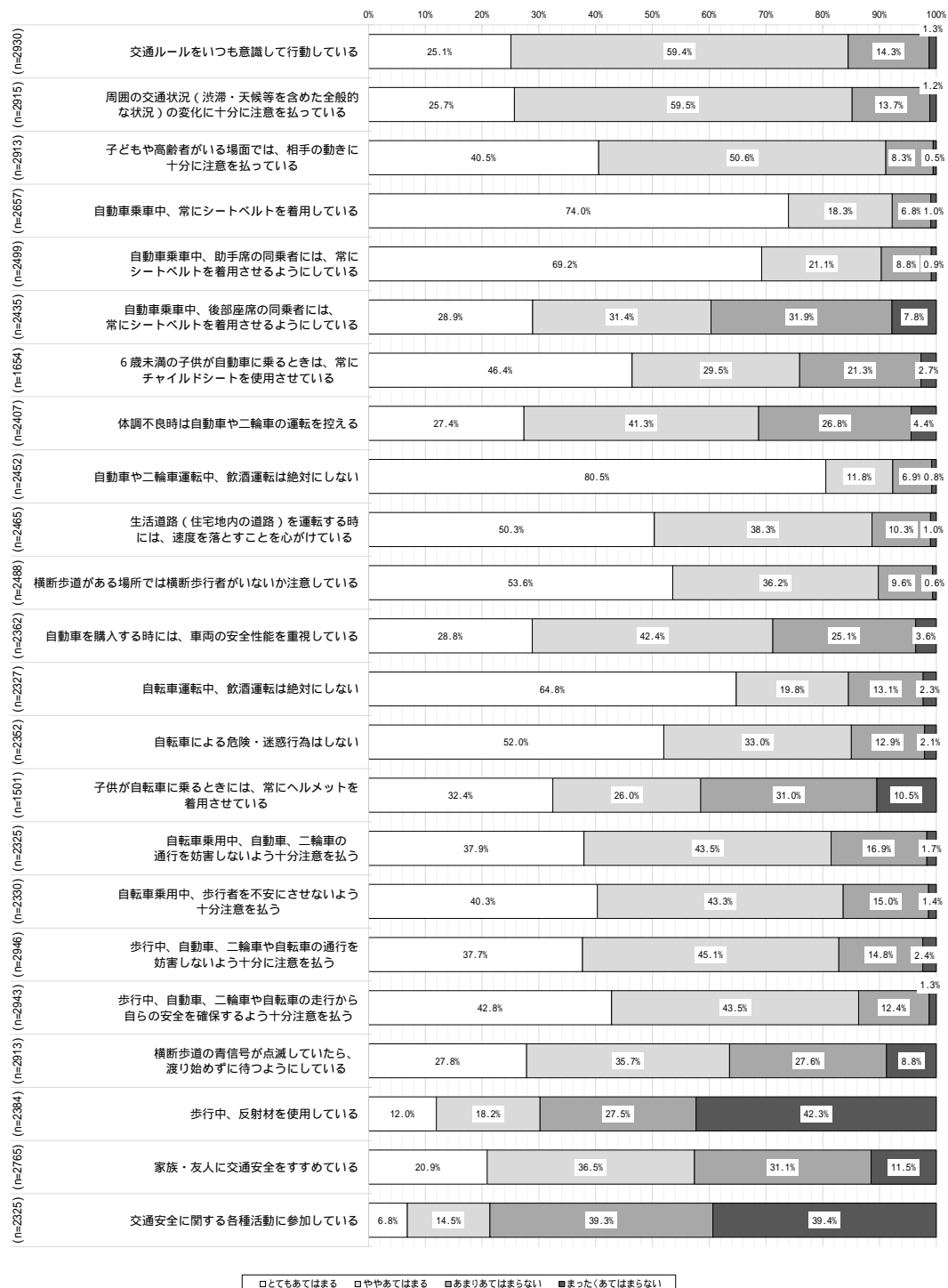
・安全・安心を実感しているといった回答の方が多かったものとしては、「車両の構造」があげられる。一方、「自動車の運転マナー」、「二輪車の運転マナー」、「自転車の運転マナー」、「歩行者のマナー」については、安全・安心を実感していないといった回答の方が多かった。



とても実感している
 やや実感している
 あまり実感していない
 まったく実感していない

問28. 交通安全に関するあなたの行動について教えてください。それぞれの行動について該当するものを1つ選んで下さい。

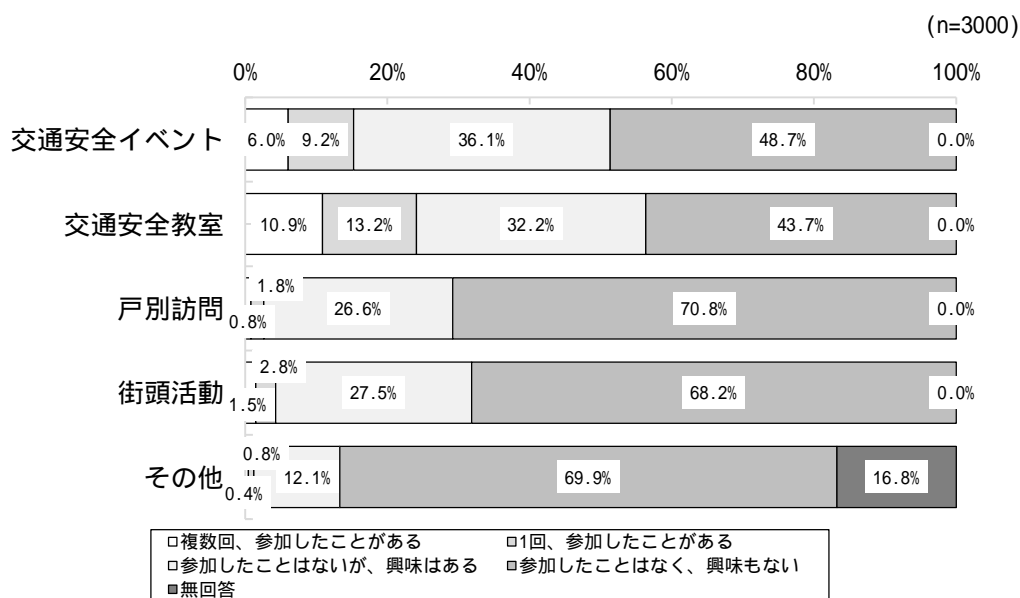
- ・回答者の意識が高く、「とてもあてはまる」との回答が特に多かった項目としては、「自動車運転中、常にシートベルトを着用している」(74.0%)や「自動車や二輪車運転中、飲酒運転は絶対にしない」(80.5%)が挙げられる。
- ・一方回答者の意識が低く、「まったくあてはまらない」との回答が特に多かった項目としては、「歩行中、反射材を使用している」(42.3%)や「交通安全に関する各種活動に参加している」(39.4%)が挙げられる。



注) アンケートでは「該当しない」の選択肢も加えて聴取しているが、上記グラフではn値から除外して比率を算出している。

問29. あなたは、国、都道府県、都道府県の一部の地域、関係団体等が実施している交通安全普及啓発活動のうち、どのような活動に参加したことがありますか。それぞれの活動について参加状況を1つ選んでください。

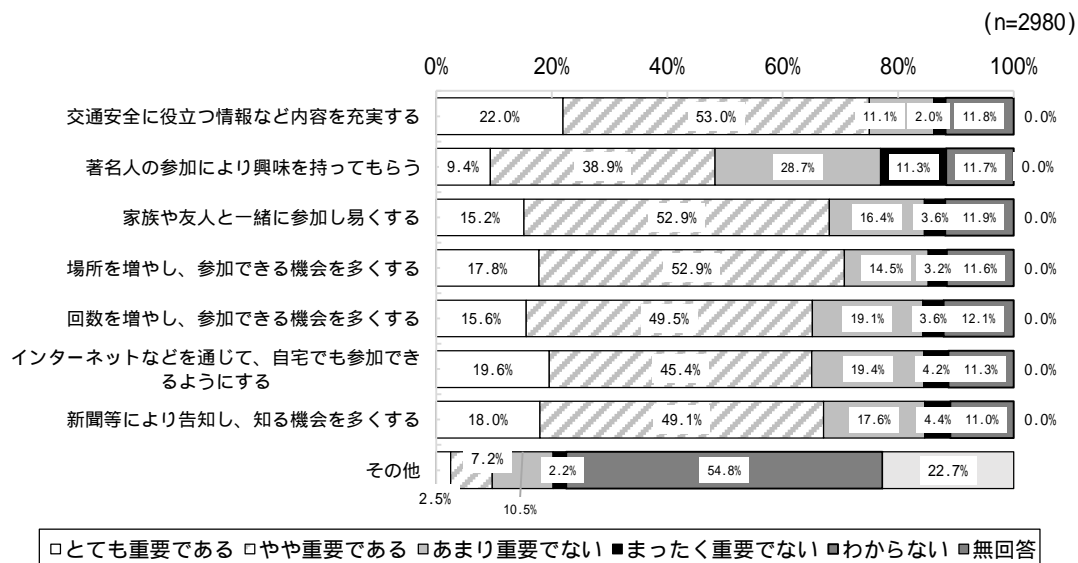
- ・交通安全イベントについては、「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は15.2%であった。
- ・交通安全教室については「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は、24.1%であった。
- ・戸別訪問については、「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は、2.6%であった。
- ・街頭活動については、「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は、4.3%であった。
- ・その他の活動については、「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は、1.2%であった。



問29でいずれかの交通安全普及啓発活動について、1つでも、「参加したことはないが、興味はある」、または「参加したことはなく、興味もない」とお答えの方に伺います。

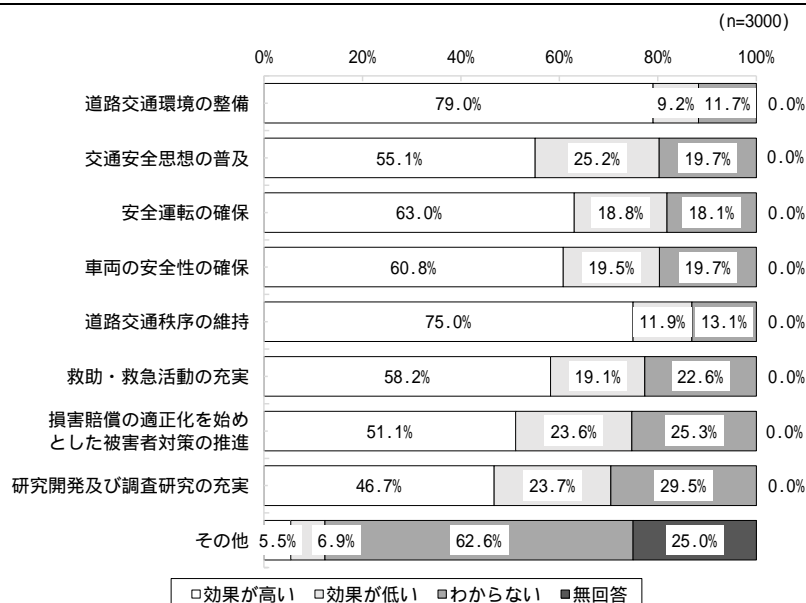
問29-2.参加を促す、または興味を持ってもらうためにはどのような改善が重要だと思われますか。それぞれの項目について該当するものを1つお答えください。

・交通安全普及啓発活動について、参加を促す、または興味をもってもらうために有効と思われる改善策について、重要であるという意見が最も多かったのは、「交通安全に役立つ情報の充実」(22.0%)、次いで「インターネットなどを通じて自宅でも参加できるようにする」(19.6%)であった。



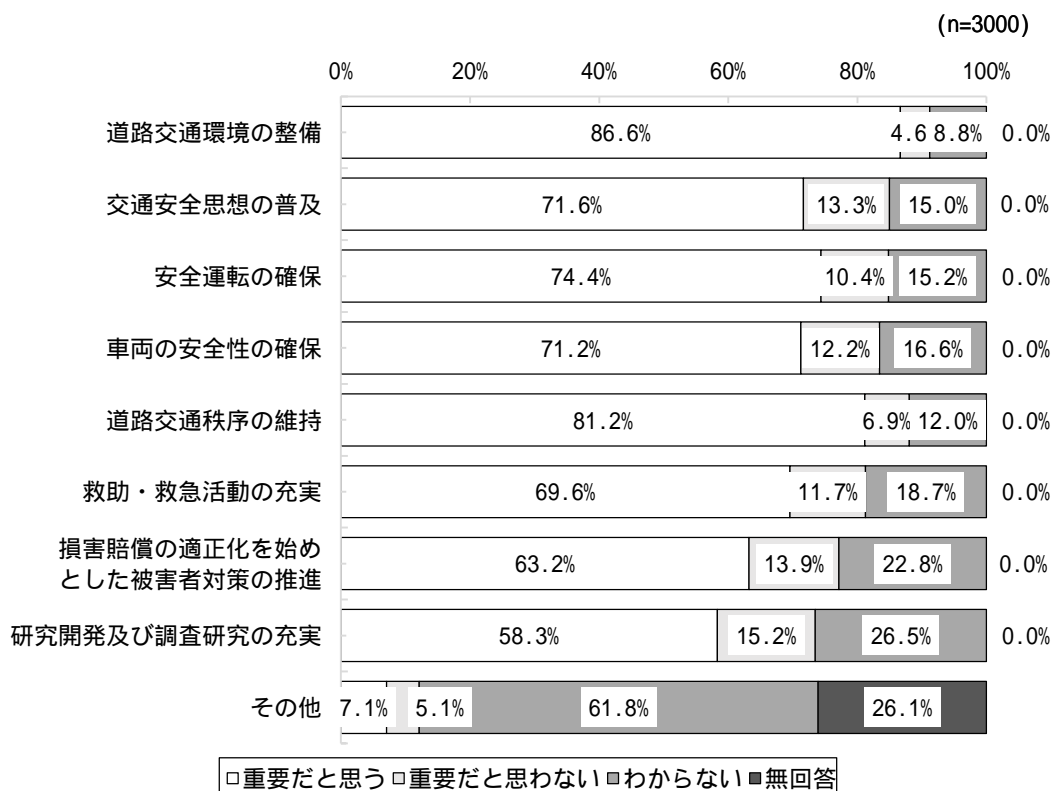
問30.現在、進められている交通安全対策について、どの程度効果があると思いますか。該当するものを1つお答えください。

・現在進められている交通安全対策について、最も効果が見込まれると回答があったのは「道路交通環境の整備」(79.0%)、次いで「道路交通秩序の維持」(75.0%)であった。



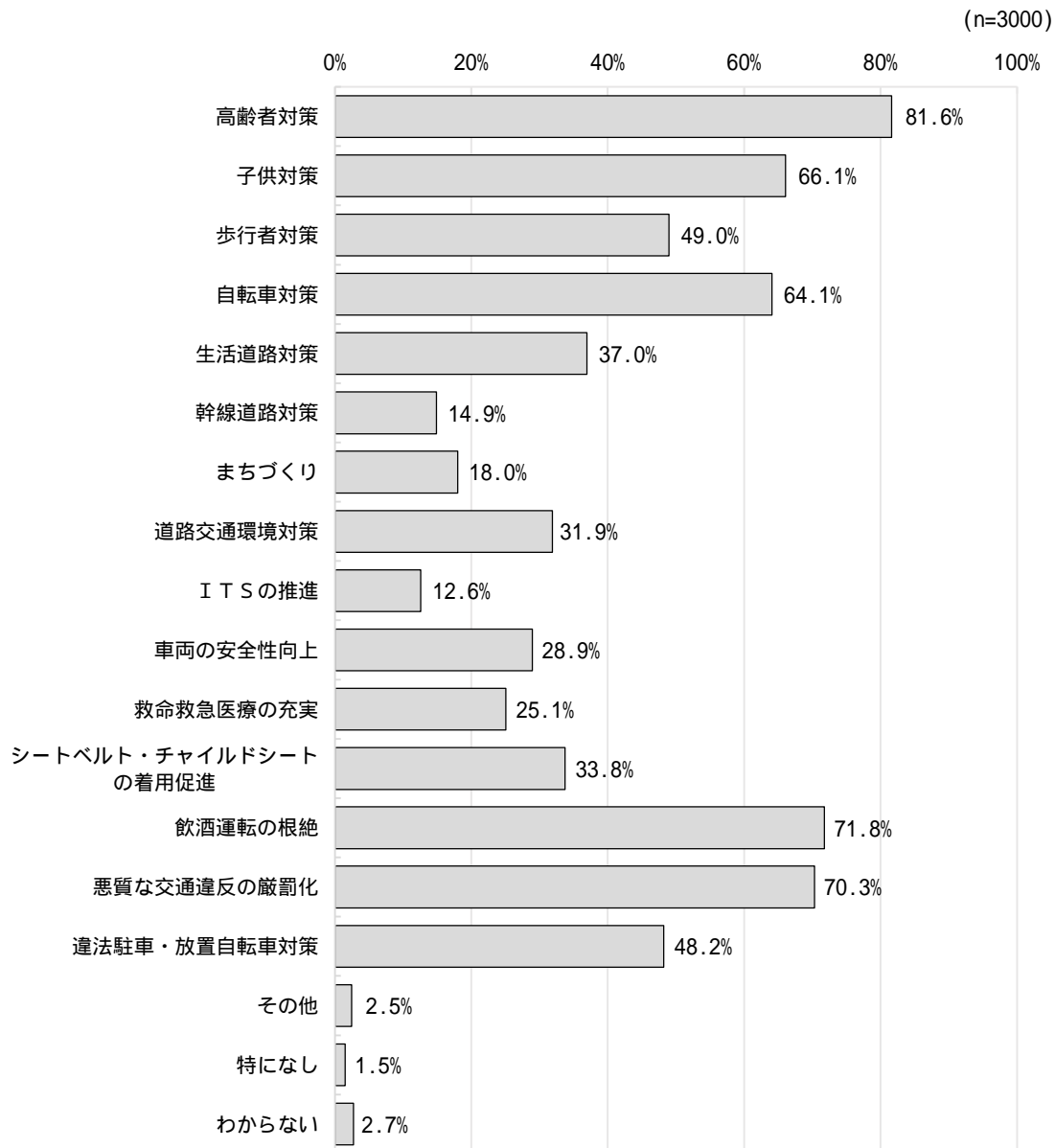
問3 1 . 現在、進められている交通安全対策について、今後も重要だと思いますか。該当するものを1つお答えください。

・現在進められている交通安全対策について、重要だという意見が特に多かったのが「道路交通環境の整備」(86.6%)、「道路交通秩序の維持」(81.2%)であった。逆に重要だと思わないという意見の多かったのは「研究開発及び調査研究の充実」(15.2%)、「損害賠償の適正化を始めとした被害者対策の推進」(13.9%)などであった。



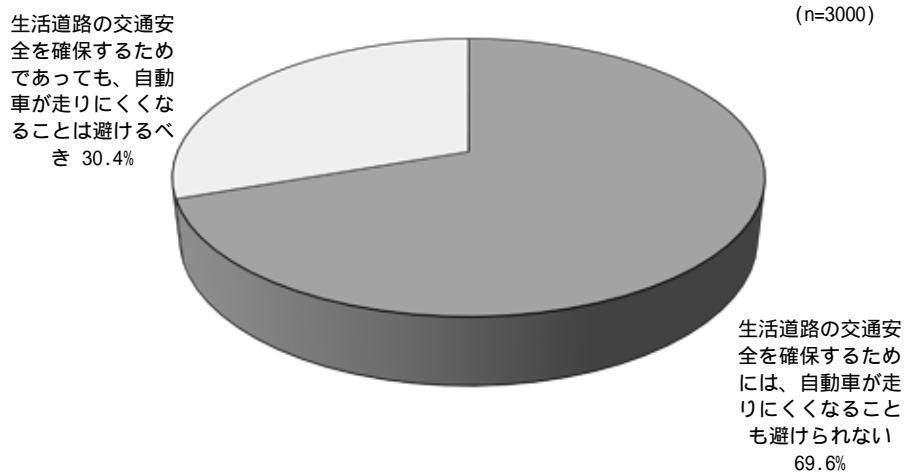
問32. 今後の交通安全対策について、次のような観点から見た場合に、重要だと思うキーワードをすべて選んでください。

・今後の交通安全対策について重要だと思うキーワードとして特に多くあげられていたものとしては、「高齢者対策」(81.6%)、「飲酒運転の根絶」(71.8%)、「悪質な交通違反の厳罰化」(70.3%)、「子供対策」(66.1%)、「自転車対策」(64.1%)があげられる。



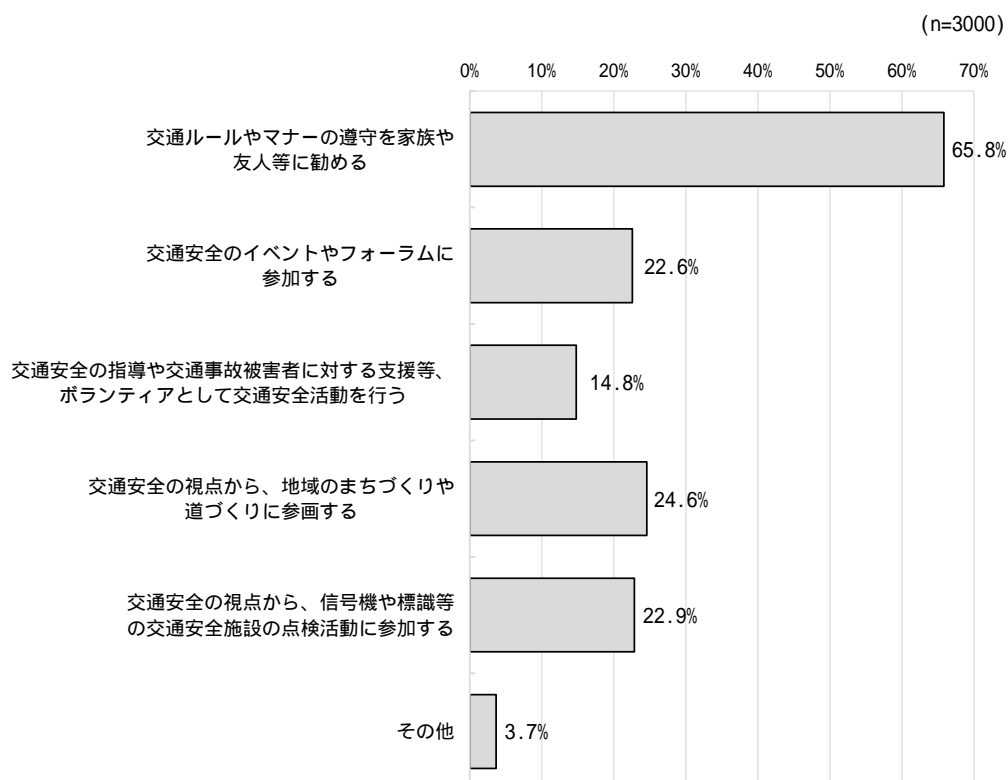
問33. 生活道路（住宅地内の道路）における交通安全対策として、車道の一部を狭くしたり路面の一部を盛り上げたりすることで、自動車が走りにくくなり、スピードが抑制されるものがあります。これらの対策について、あなたの考え方に最も近いものを、以下のいずれかから1つ選んで下さい。

・生活道路における安全対策として、「交通安全の確保のためには走りにくくなることも避けられない」(69.6%)という意見が「避けるべき」(30.4%)という意見より大幅に多かった。



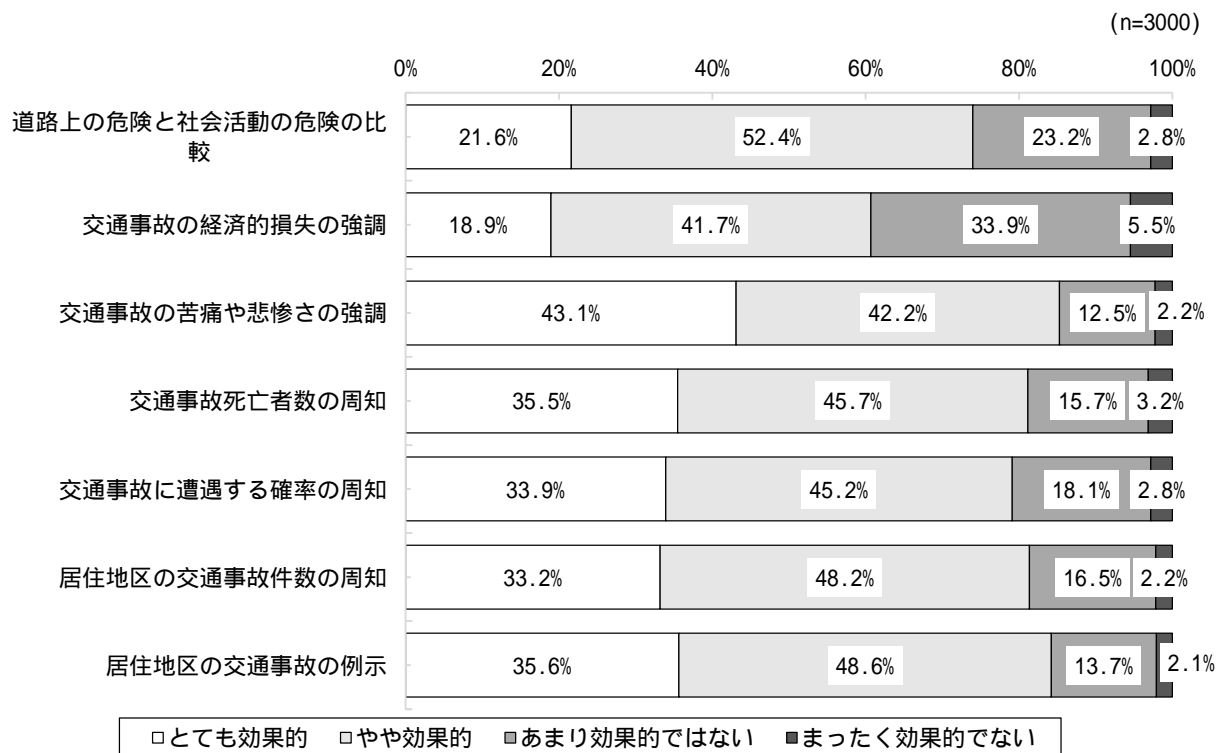
問34. 次のうち、あなたが積極的に協力しても良いと思うものは、どのようなものですか。該当するものをすべて選んでください。

・回答者が積極的に協力しても良いと考えていることは「交通ルールやマナーの遵守を家族や友人等に勧める」(65.8%)が顕著に多く、次いで「交通安全の視点から地域のまちづくりや道作りに参加」(24.6%)と続くが回答率は大幅に減少していた。



問35. あなたは、交通安全問題の深刻さを国民に訴えかけるために、以下の方法はどの程度効果的だと思いますか。それぞれの方法について、効果の度合いをそれぞれ1つ選んでください。

・交通安全問題の深刻さを国民に訴えかけるために、効果的であるといった回答(「とても効果的」「やや効果的」)が特に多かったものとしては、「交通事故の苦痛や悲惨さの強調」(85.3%)、「居住地区の交通事故の例示」(81.4%)があげられる。



問35-2. また、上記問35の(1)から(7)までの方法以外に効果的な方法がございましたら、ご意見を具体的にご記入下さい。(自由記述式)

回答として挙げられた主な意見

- ・自転車の交通ルール周知や、違反取締りの強化、厳罰化等。
- ・歩行者の交通ルール周知。
- ・高齢者の運転に対する対策(講習会の実施や、免許返納の促進等)
- ・歩行者や自転車の通行空間の確保や、交差点へのミラー設置等の道路環境の整備。
- ・取締りの強化や加害者に対する厳罰化。
- ・飲酒運転や危険ドラッグを使用した運転の予防対策や、厳罰化。
- ・交通ルールやマナーについて学校等で教育する。
- ・テレビやインターネットを通じて交通安全に関する広報を行う。
- ・事故の多発地点について広報を行う。
- ・交通事故の悲惨さや恐ろしさ、事故の被害者やその遺族の事故後の姿等を知ってもらう。 等

問36. 今後の交通安全対策についてあなたのお考えをお答え下さい。(自由記述式)

回答として挙げられた主な意見

高齢者や子供への対策強化

- ・高齢化社会に対応して、高齢者に重点をおいた対策を検討すべき。
- ・通学路の安全対策等、子供の安全確保のための対策が必要。 等

道路環境の整備等

- ・歩道の分離や自転車通行空間の確保、歩道の拡幅等の道路環境整備を行うべき。
- ・生活道路、幹線道路、高速道路に分けて車両の速度を制限すべき。 等

取締りの強化・厳罰化

- ・スマートフォンを見ながら通行する歩行者や自転車・自動車運転者が多いので取り締まるべき。
- ・悪質なドライバーや危険運転への取締りの強化や厳罰化を推進すべき。 等

飲酒・薬物対策の推進

- ・飲酒や薬物使用時の事故に対する厳罰化や、逃げ得を許さないような法整備が必要だと思う。
- ・飲酒や脱法ドラッグを服用して運転する人への罰則を強化してほしい。 等

一人ひとりの意識の改善(及びそのための教育や啓発活動の推進)

- ・一人ひとりのマナー意識の向上が不可欠だと思う。
- ・一人一人が交通事故を身近なものであると知るとは重要であると感じるので、多くの人が触れるテレビや新聞等のマスメディアで事故を防ぐ方法や運転者の心構えについて積極的に訴えていくべきだと思う。 等

安全教育の推進

- ・学校や職場でも交通安全に関する教育機会を増やす。
- ・小さい子でも歩くようになったら歩く時の交通マナーを、自転車に乗ようになったら自転車運転中のマナーを、各年代に応じた指導が必要だと思う。 等

運転免許制度の見直し等

- ・自己診断で運転をやめたほうがいいかなと感じたときに一度相談できる機関があるとよい。
- ・免許を返納する年齢を国で定めるべきだと思う。そのかわり、返納した方への公共のバスや電車など使いやすくするサポートをする。 等

車両の安全性を高める

- ・車自体の安全性能の向上を図るべき。
- ・自動運転等の車両の安全装備の充実化を図り、人には出来ない安全対策を充実させる。 等

地域レベルでの対策が必要

- ・地域で子供、お年寄りを守ることが必要であり、そのためにボランティアの見守りが必要。
- ・地域での具体的な危険を周知させる活動を増やすべきだと思う。 等

2) クロス集結果

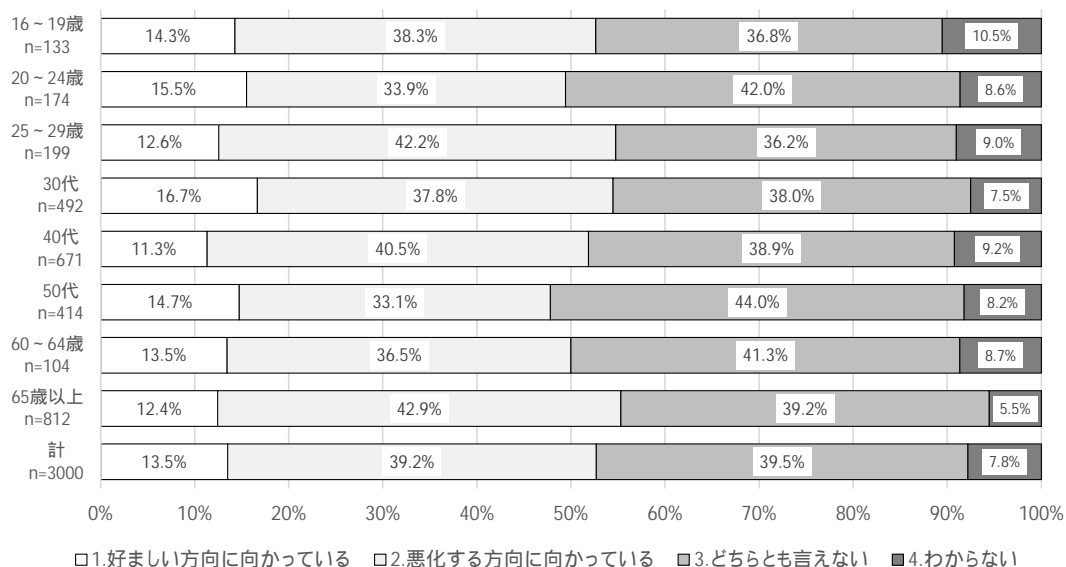
今回特に注目すべきと思われる問について、抜粋してクロス集計を実施した。

問13、問14

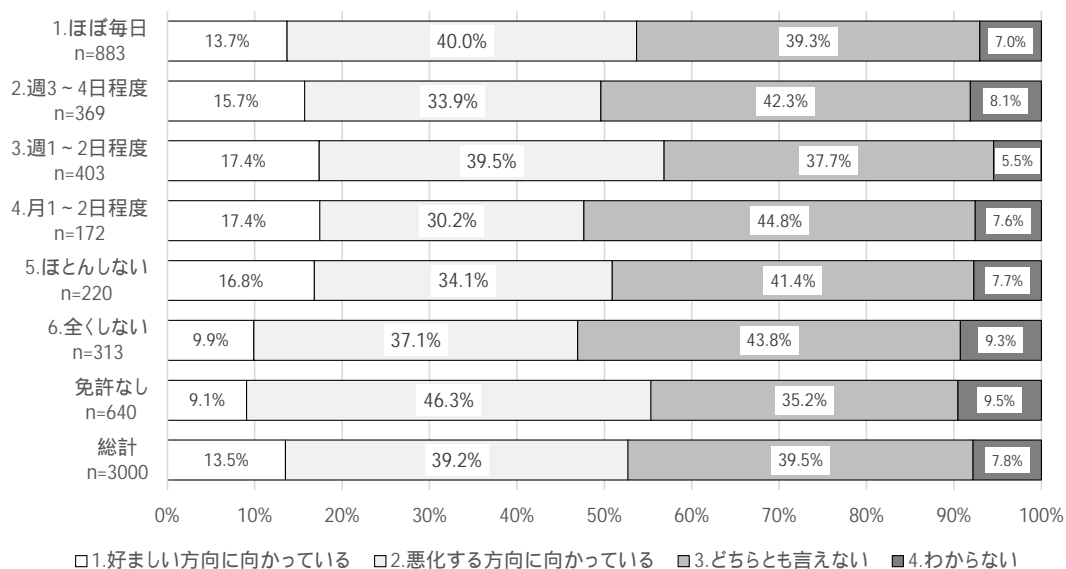
死者数及び死傷者数が減少を続けているにもかかわらず、「好ましい方向に向かっている」や、事故が「減った」と考えている人が少ないことから、集計を実施した。

問13. 交通事故の情勢はどのような方向に向かっていると思いますか。あなたの考えや印象が一番近い情勢を1つ選択してください。

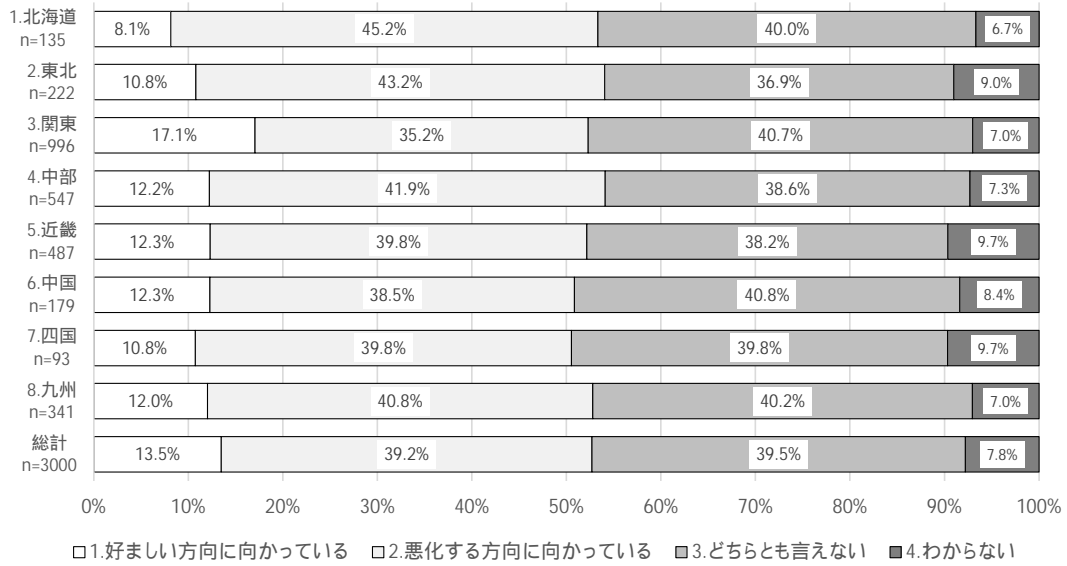
年齢階層別



運転頻度別



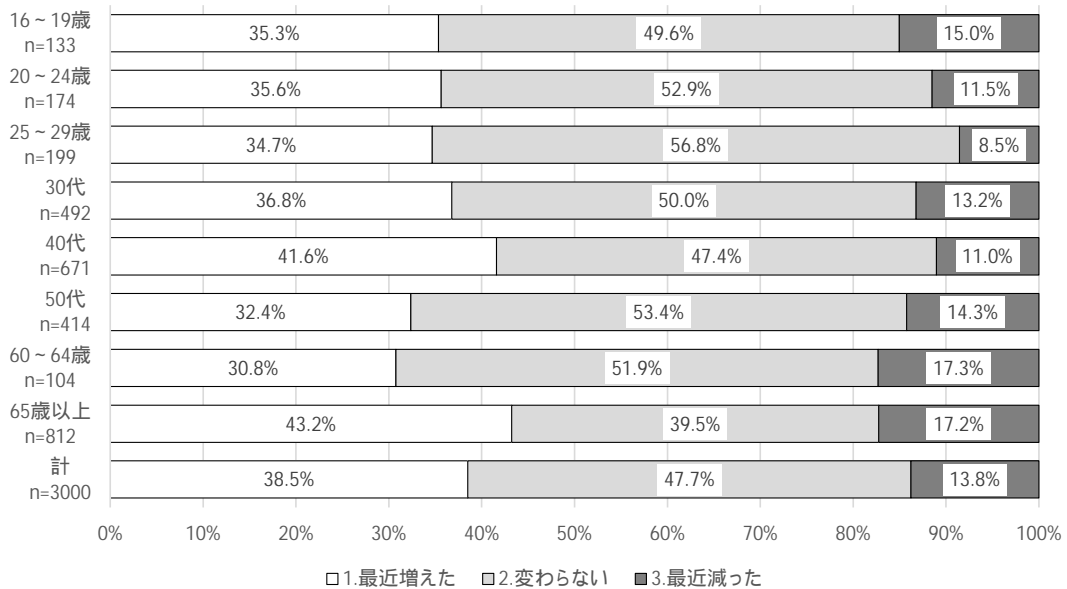
地域別



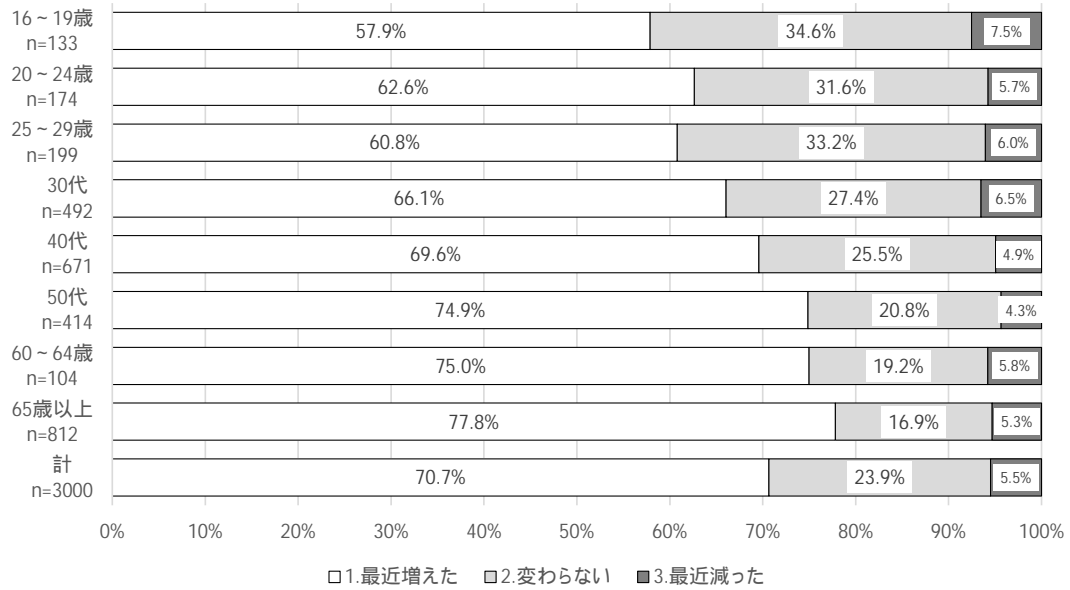
問14. 下記のそれぞれの項目について、最近、どのような方向に向かっていると思いますか。あなたの印象が一番近いものを、各項目で1つずつ選択してください。

年齢階層別

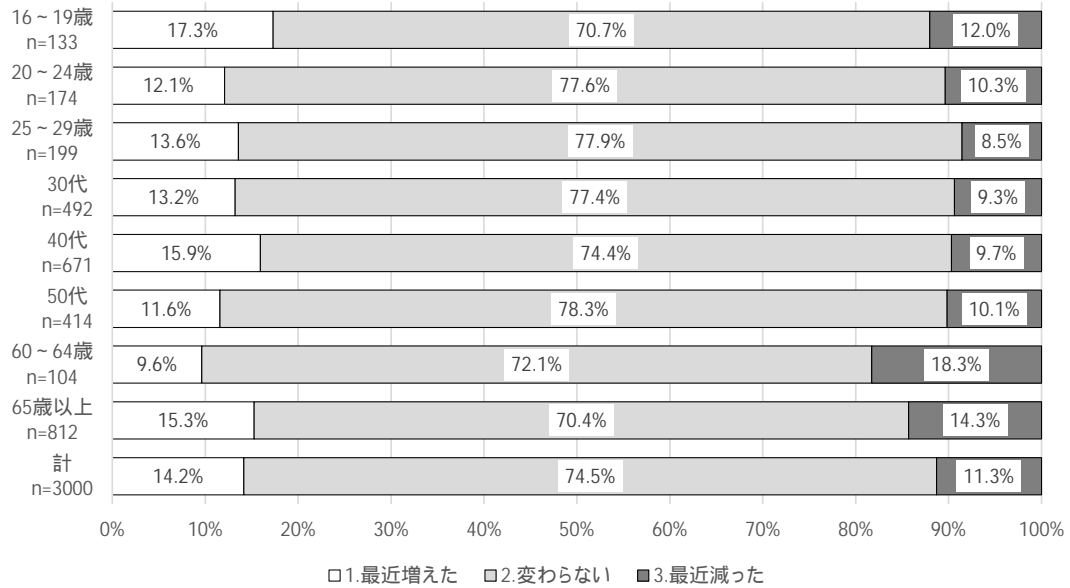
A) 交通事故の発生



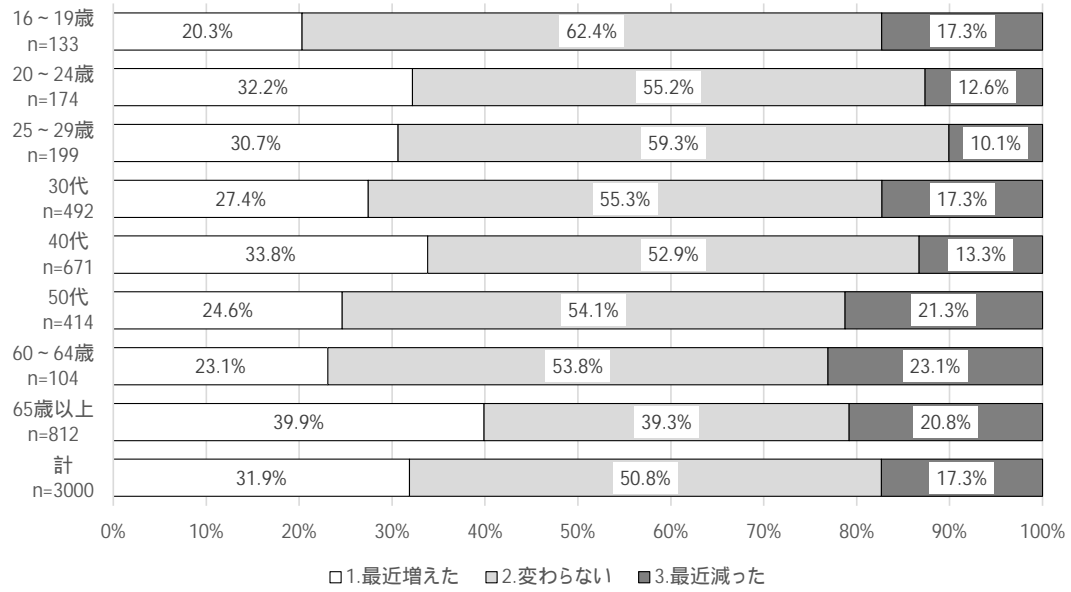
B) 悪質・危険・迷惑な交通事故



C) 自分の身近な所での交通事故



D) 交通事故による死者・重傷者



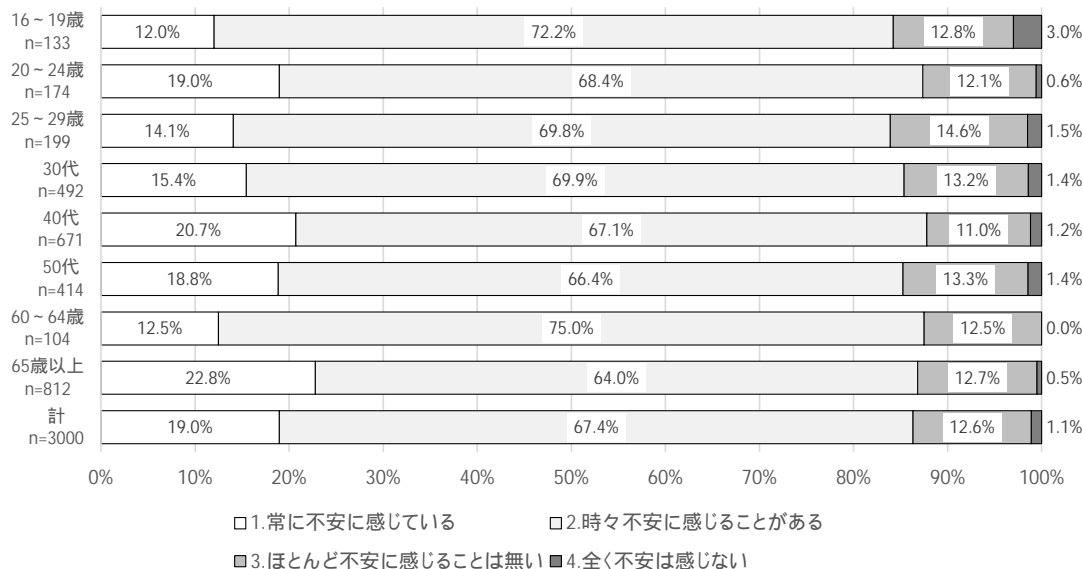
問 2 2、問 2 4

問 13、問 14 の結果から、「不安」に関することを分析するために集計を実施。

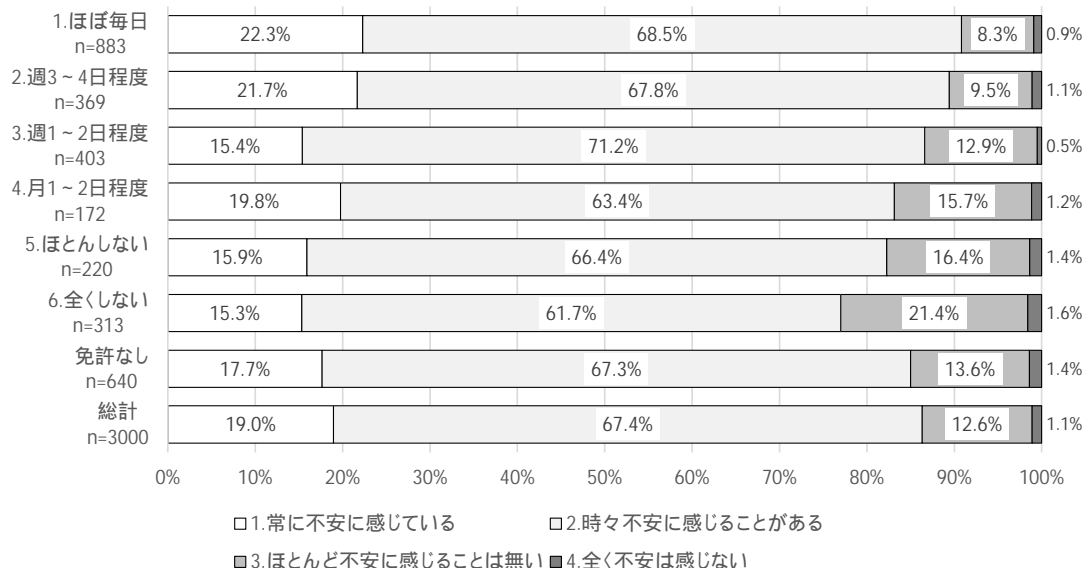
問 24 は不安に思っている割合の高い 4 つの項目を抽出。

問 2 2 . 交通事故について、普段どのくらい不安に感じていますか。下記から 1 つ選んで下さい。

年齢階層別



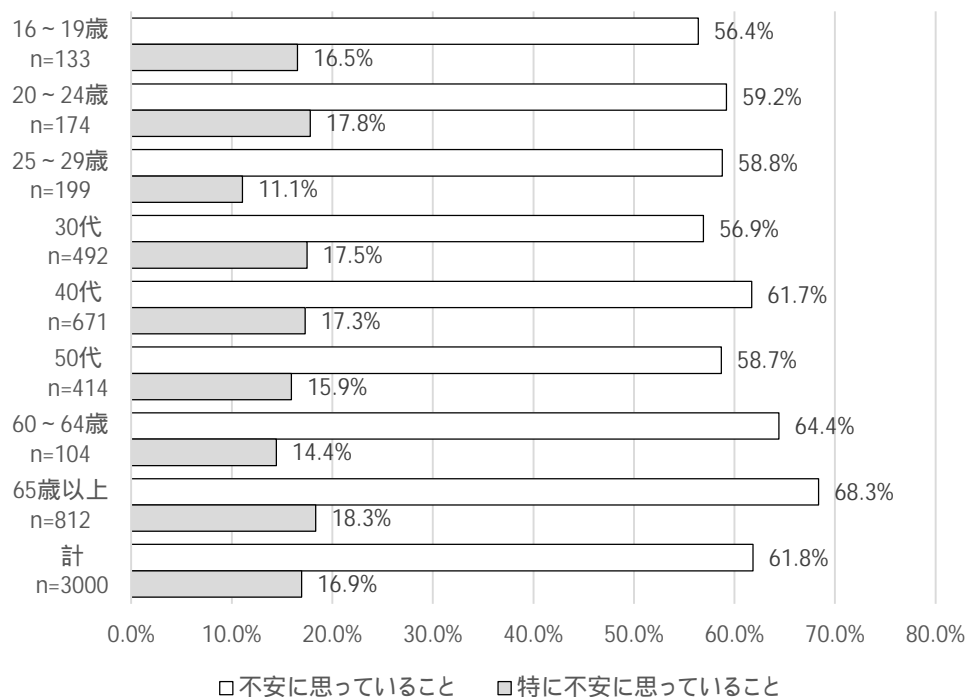
運転頻度別



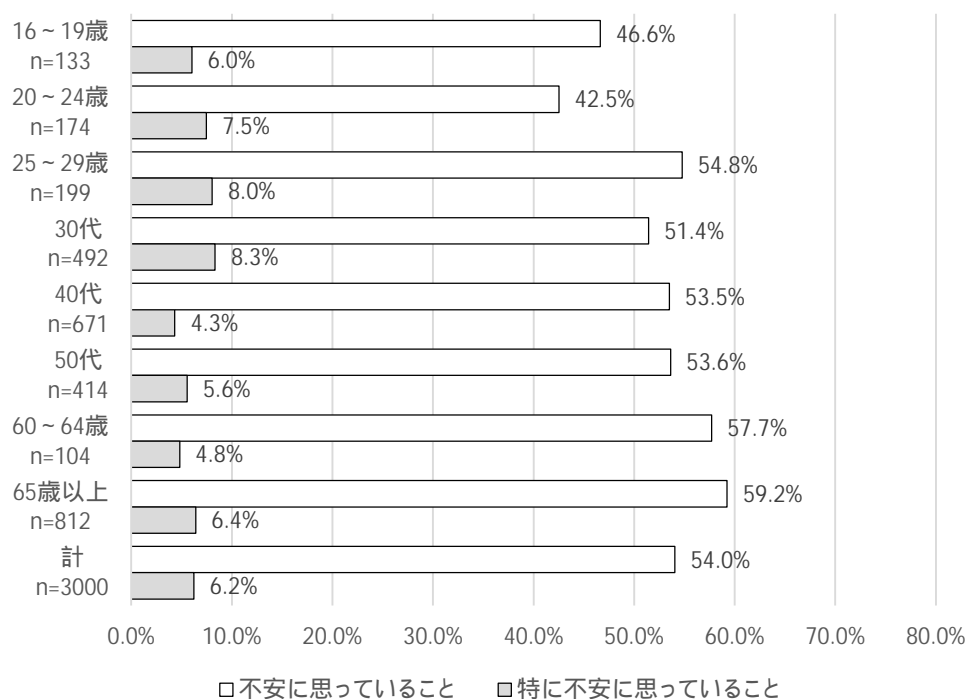
問24. あなたは、日頃、交通安全上、不安に思っていることがありますか。あるとすれば、どんなことでしょうか。該当するものをすべて選んで下さい。また、その中から特に不安に思うことを1つ選んで下さい。

年齢階層別

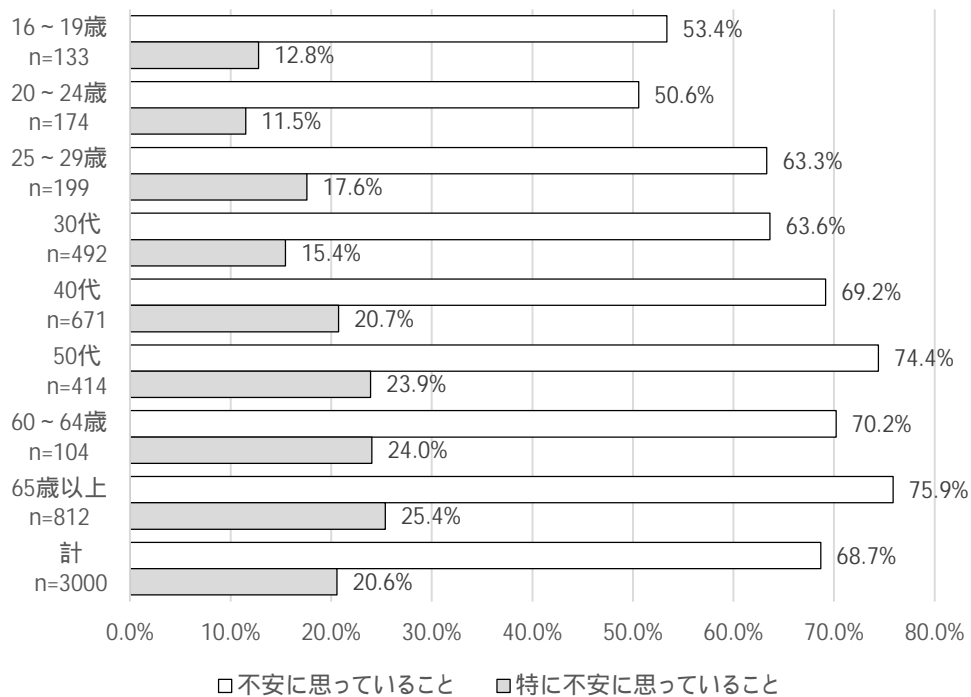
A) 生活道路の速度



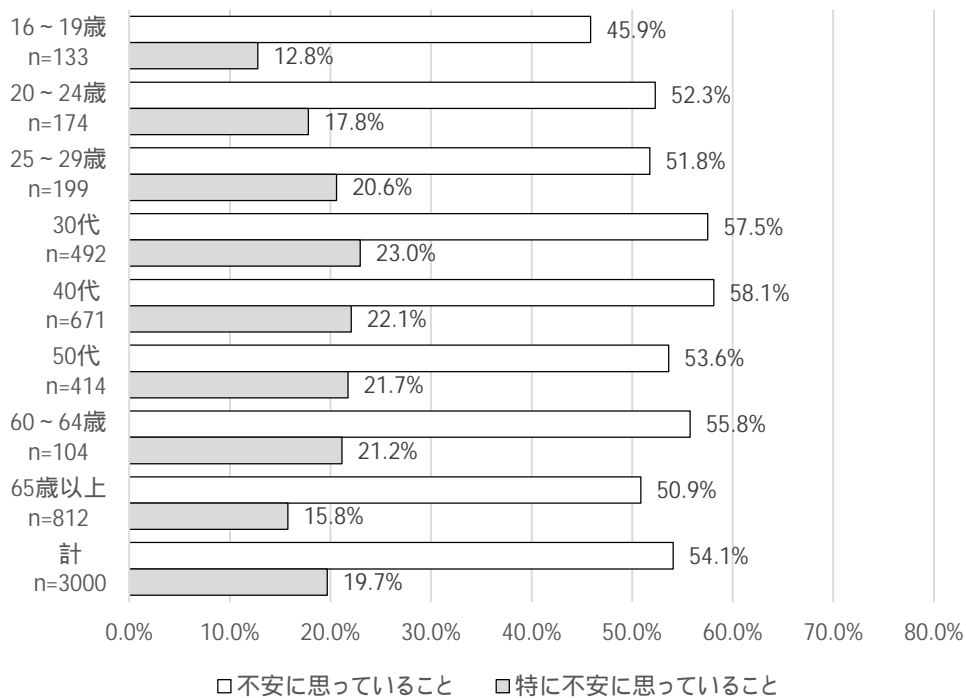
B) 歩行者のマナー



C) 自転車のマナー

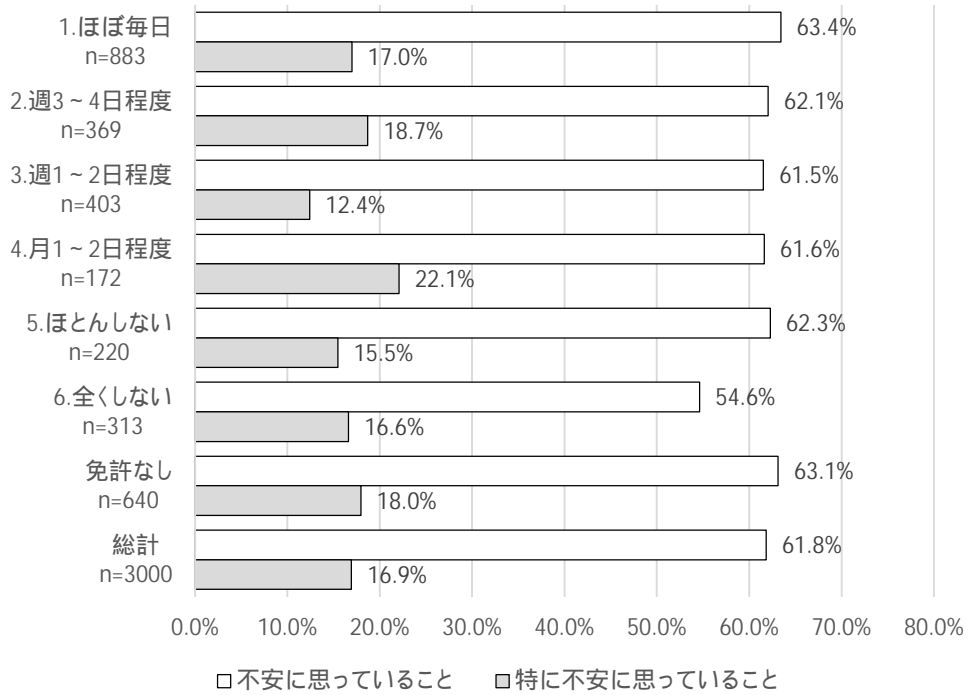


D) 自動車のマナー

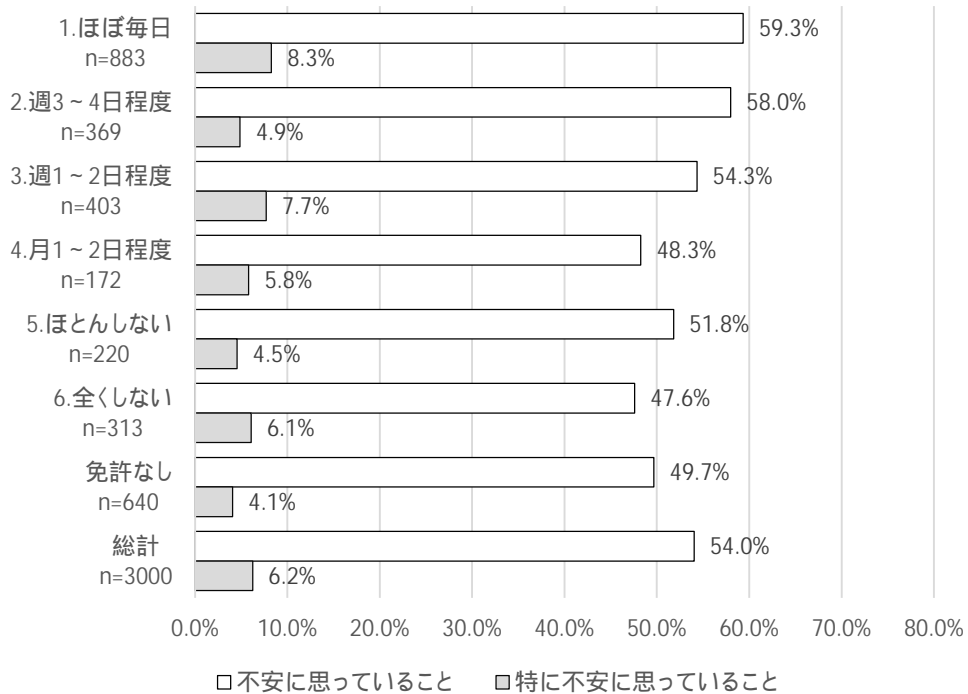


運転頻度別

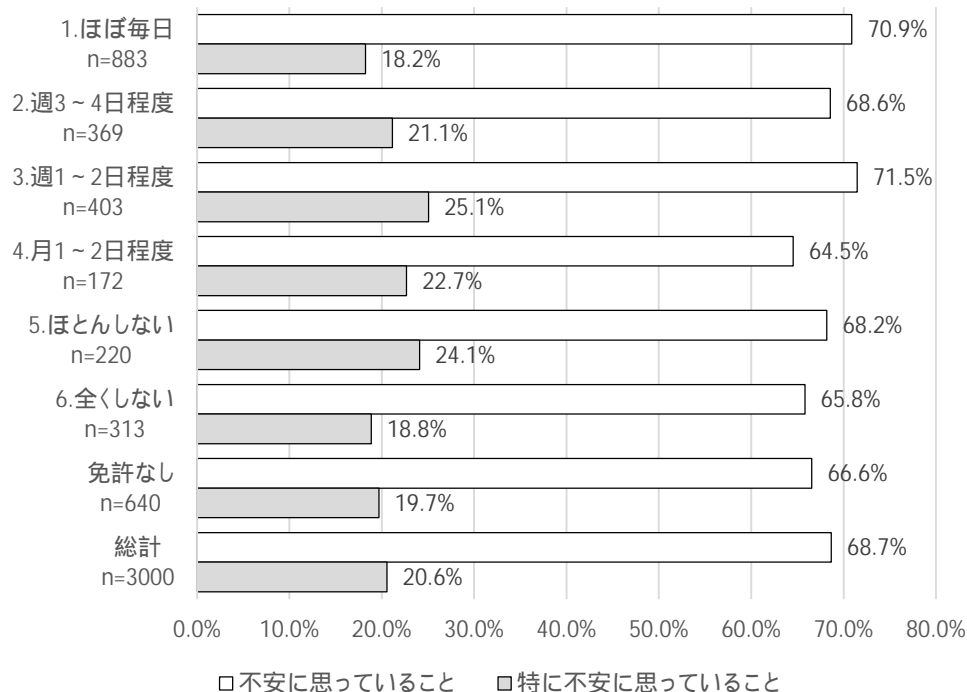
A) 生活道路の速度



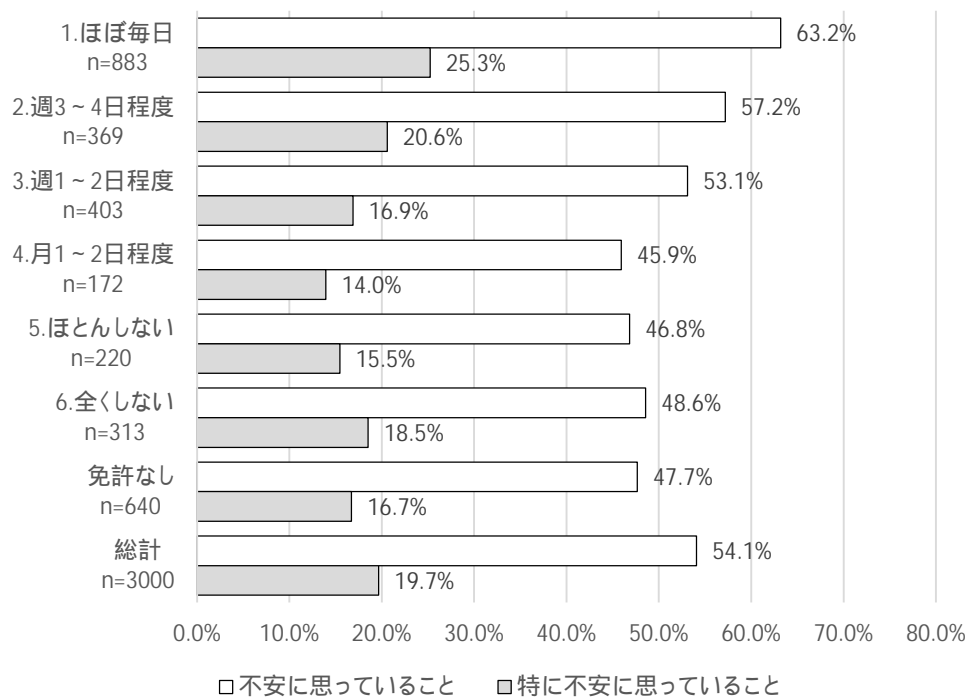
B) 歩行者のマナー



C) 自転車のマナー



D) 自動車のマナー

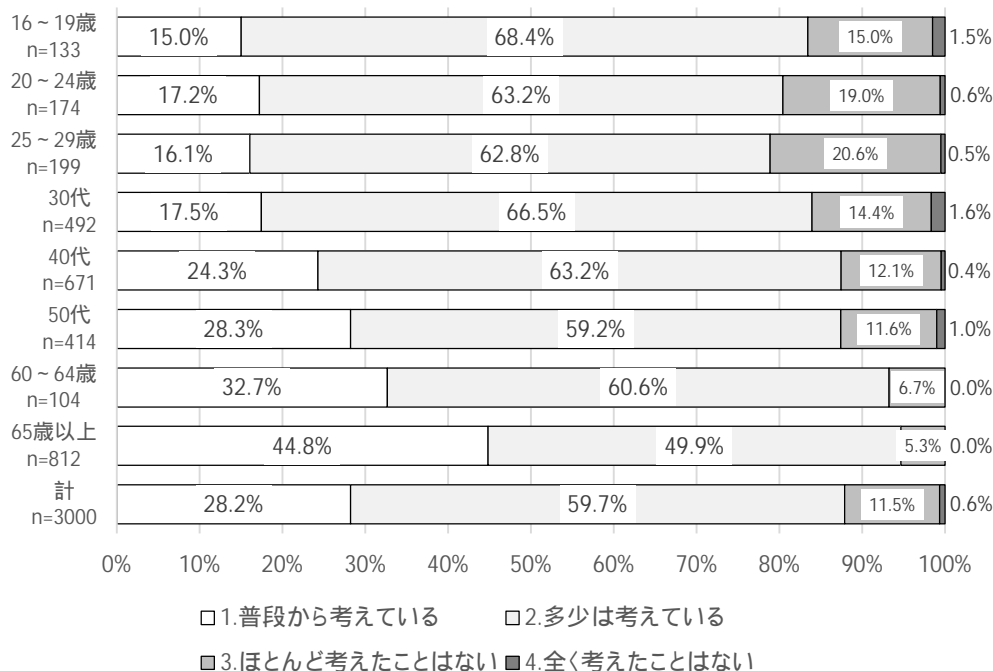


問25、問26

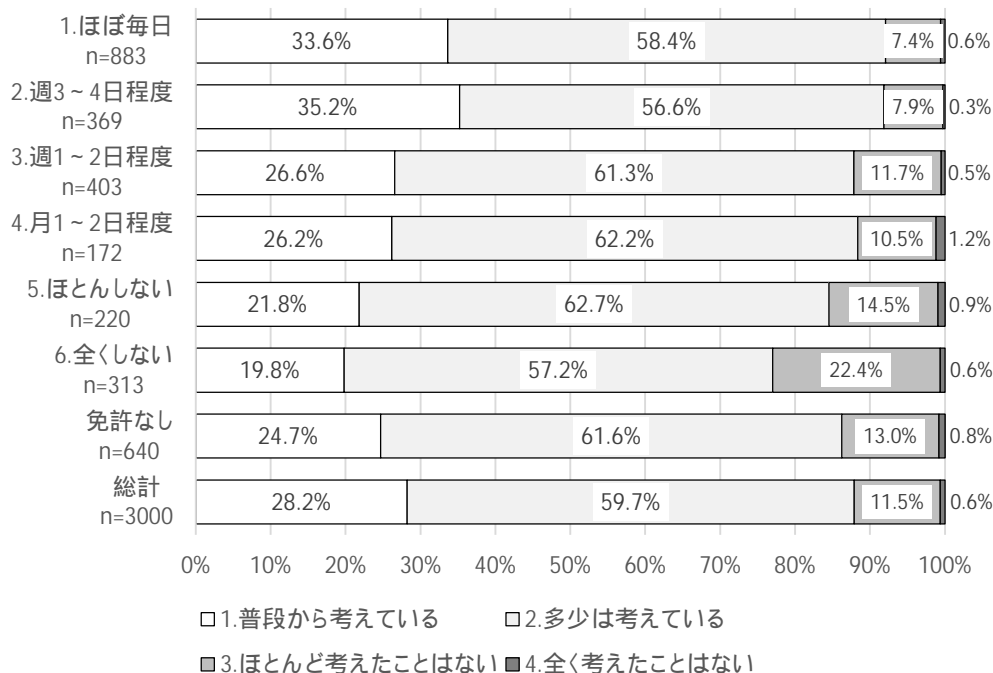
交通安全意識に関する基本的な問であるが、子供のアンケートにおける類似の問と回答分布が大きく異なる。

問25. 交通安全に関して、普段どのくらい考えていますか。下記から1つ選んでください。

年齢層別

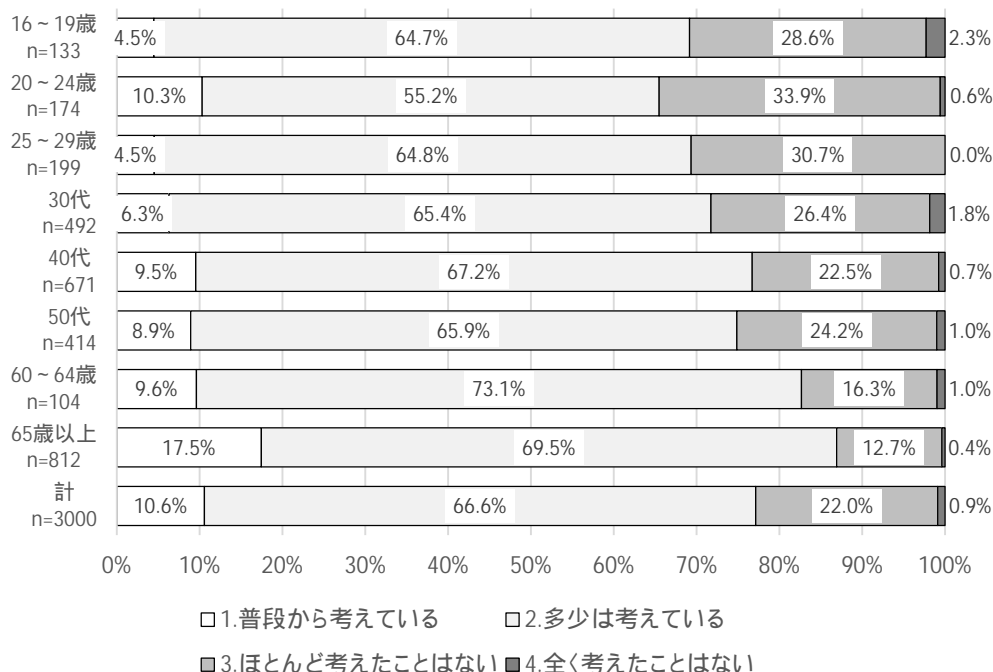


運転頻度別

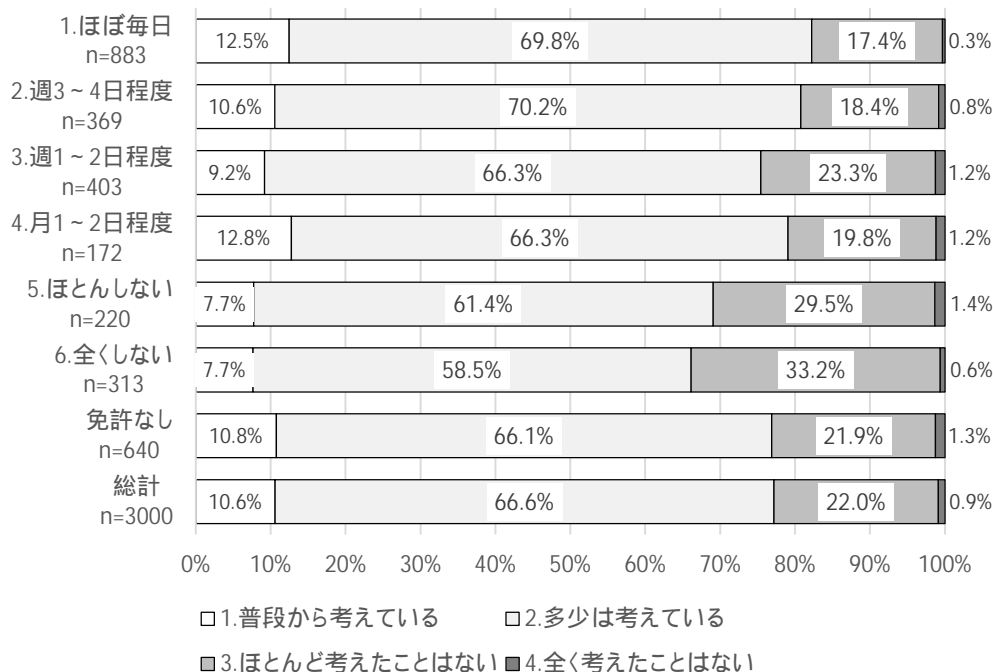


問26. 交通安全に関して、あなた以外の人は、普段どのくらい考えていると思いますか。下記から1つ選んでください。

年齢階層別



運転頻度別

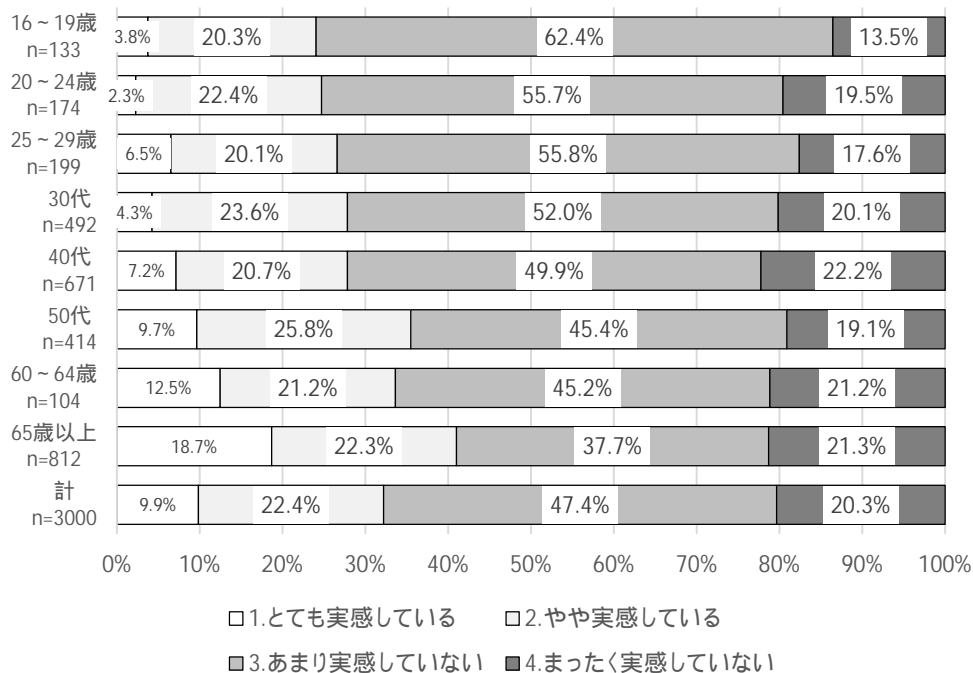


問 2 7

問 13、問 14 の結果から、「不安」に関することを分析するために集計を実施。
最も安心・安全を実感できていない自転車の運転マナーについてのみ抽出した。

問 2 7 . 現在、道路を通行するときに「安全・安心」を実感していますか。それぞれの項目について、以下の中から最も該当するものを1つ選んでください。

年齢階層別（選択肢 7 「自転車の運転マナー」のみ集計）

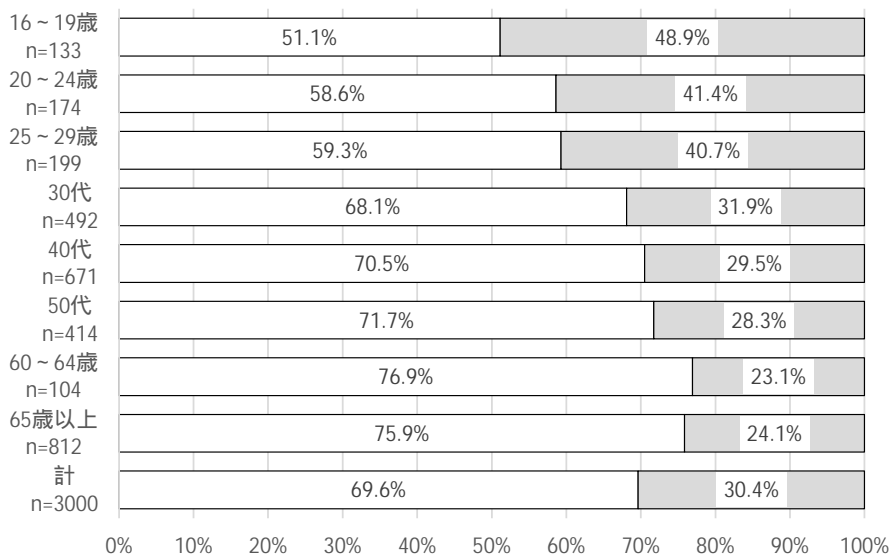


問 3 3

生活道路対策に関する受容意識を分析するために集計を実施。

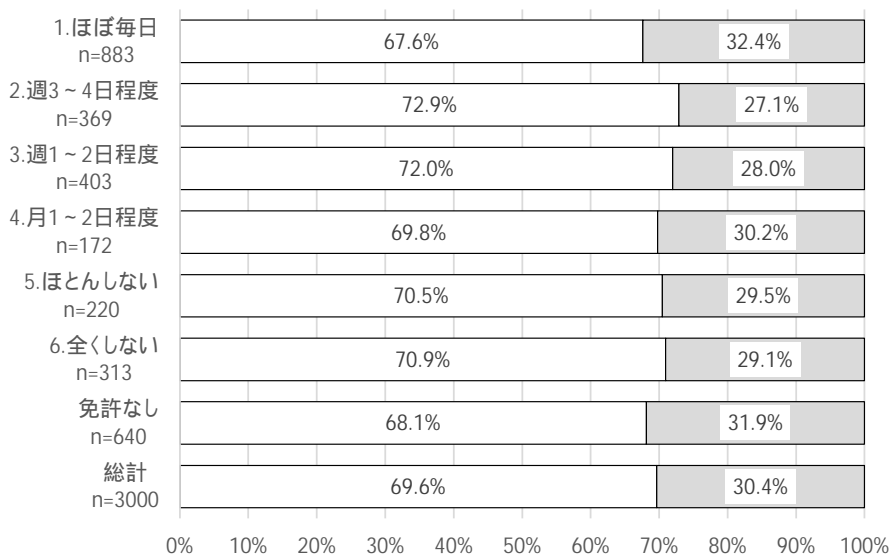
問 3 3 . 生活道路（住宅地内の道路）における交通安全対策として、車道の一部を狭くしたり路面の一部を盛り上げたりすることで、自動車が走りにくくなり、スピードが抑制されるものがあります。これらの対策について、あなたの考え方に最も近いものを、以下のいずれかから1つ選んで下さい。

年齢階層別



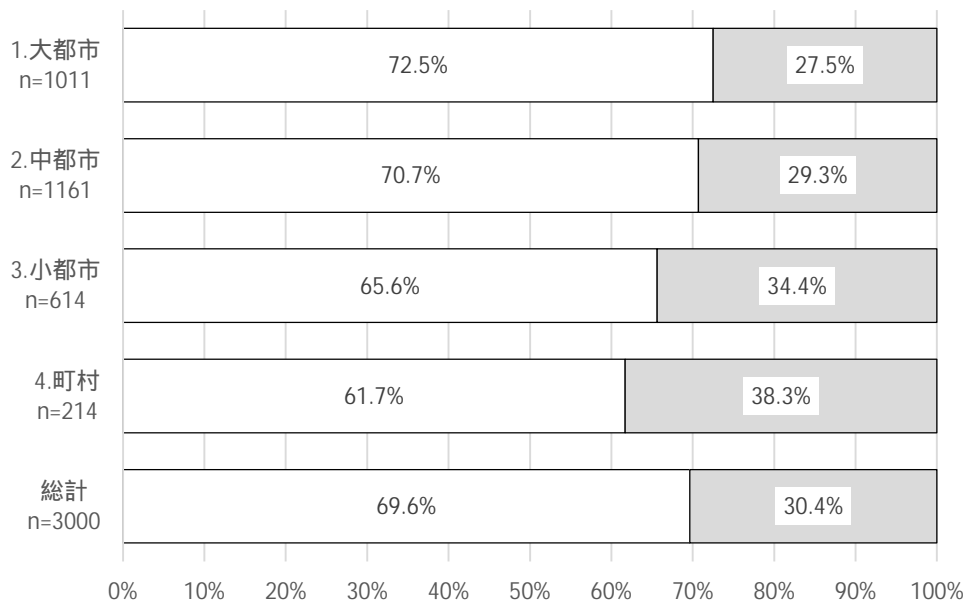
- 1.生活道路の安全を確保するためには、自動車が走りにくくなることも避けられない
- 2.生活道路の安全を確保するためであっても、自動車が走りにくくなることも避けるべき

運転頻度別



- 1.生活道路の安全を確保するためには、自動車が走りにくくなることも避けられない
- 2.生活道路の安全を確保するためであっても、自動車が走りにくくなることも避けるべき

住んでいる都市の規模別

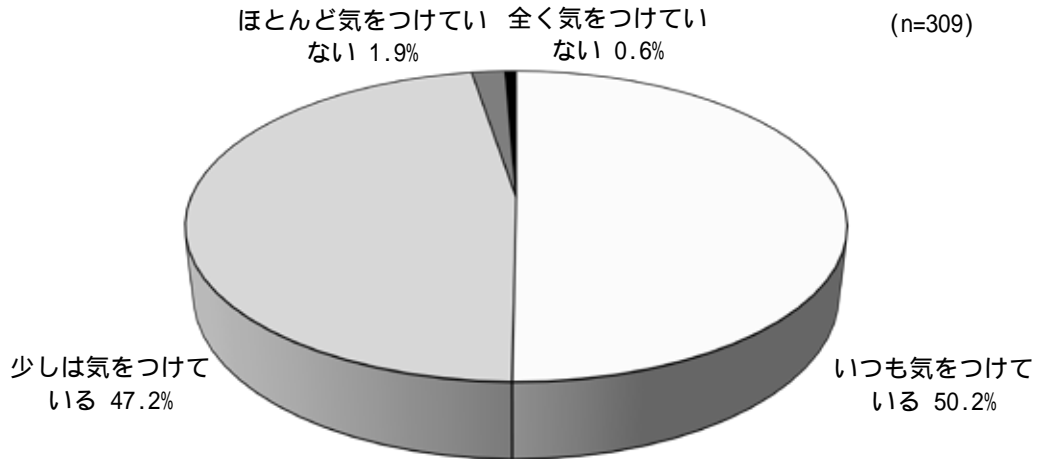


- 1.生活道路の安全を確保するためには、自動車が走りにくくなることも避けられない
- 2.生活道路の安全を確保するためであっても、自動車が走りにくくなることも避けるべき

(2) 子供アンケート

問5 . あなたは、交通安全について普段どのくらい気をつけていますか。

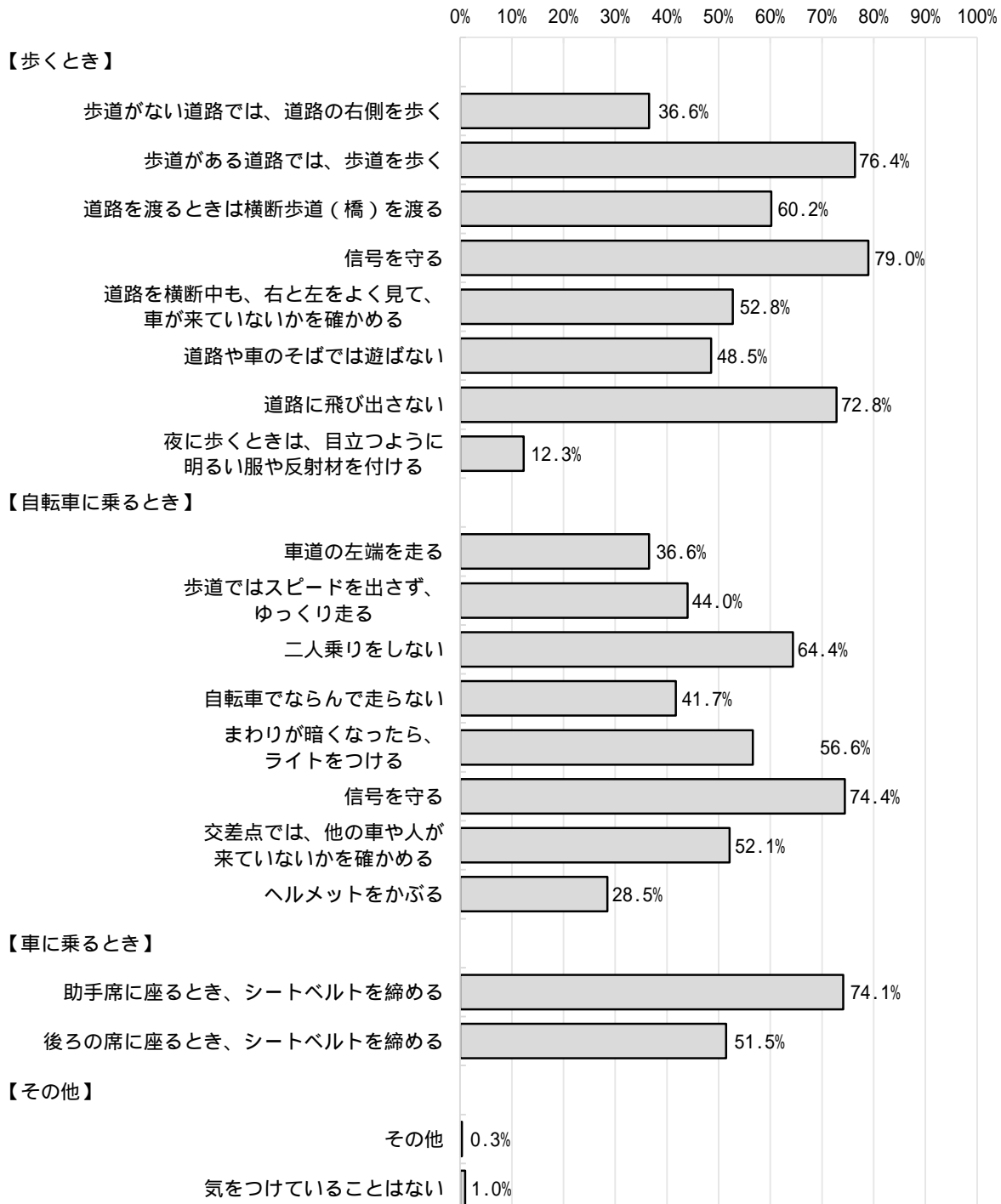
- ・交通安全について気をつける頻度については、「いつも気をつけている」や「少しは気をつけている」といった回答が多く、合わせて97.4%であった。
- ・一方、「ほとんど気をつけていない」、「全く気をつけていない」といった回答は少なく、合わせて2.6%であった。



問6 . ではあらためて、お伺いします。交通安全について、以下で気をつけていることはありますか。

・交通安全について気をつけていることについて、歩くときに「信号を守る」(79.0%)、「歩道を歩く」(76.4%)、「道路に飛び出さない」(72.8%)の順に多く、自転車に乗っているときは「信号を守る」(74.4%)、「二人乗りをしない」(64.4%)が特に多く、車に乗るときは「助手席に乗るときシートベルトを締める」(74.1%)が特に多かった。

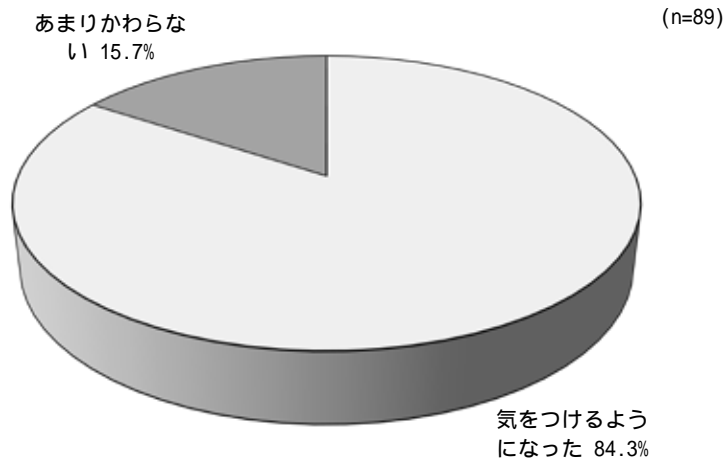
(n=309)



問12. (交通事故にあいそうになった経験があると回答した子供に対する質問)

その後、交通事故に対して気をつけるようになりましたか。

・交通事故にあいそうになった後、「気をつけるようになった」という回答が 84.3%いたのに対し、「あまりかわらない」という回答は 15.7%であった。



問13. 周りの大人の交通行動を見て、次のような行動を見かけることはありますか？よく見かけるものをすべてお答えください。

・子供が見た周りの大人の危険な交通行動は「信号を守らない」(70.6%)、「横断歩道でないところを平気で渡る」(69.6%)、「車で狭い道をすごいスピードで走っている」(69.6%)、「スマートフォン・携帯電話を見ながら自転車に乗っている」(67.3%)などが非常に多く、「特にない」(2.3%)という回答が非常に少なかった。

